



Title	西フリジア語の文法構造：動詞（1）
Author(s)	清水， 誠
Citation	北海道大學文學部紀要， 47(2)， 21-97
Issue Date	1998-10-23
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/33720
Type	departmental bulletin paper
File Information	47(2)_P21-97.pdf



西フリジア語の文法構造——動詞 (1)——

清水 誠

Struktuer fan it Westerlauwersk Frysk

——tiidwurd (1)——

(*The Annual Report on Cultural Science* 47-2 (No.95). The Faculty of Letters, Hokkaido University, Sapporo, Japan 1998. ISSN 0437-6668)

SHIMIZU Makoto

XI 動詞 (it tiidwurd)

§ 68 動詞の語形変化と文法範疇：概観

(1) 定形と不定形

個々の動詞には語形変化 (de bûging) として「定形」(de finite foarm, de persoansfoarm) と「不定形」(de ynfinite foarm, de nominale foarm) の区別があり、それぞれ後述の文法範疇を示す。定形は出来事を発話状況に関係づける場合の語形であり、「時制」(de tiid), 「法」(de foarstelwize, de modus), 主語の人称と数に一致した「人称変化」を示す。不定形は出来事を発話状況に関係なく特徴づける場合の語形であり、時制と法を示さず、一致による人称変化を示す主語を欠き、用法の上で動詞を他の品詞に転用する場合にも用いる。動詞定形 (あるいは定形動詞) を「定動詞」と呼ぶことがある。ただし、動詞不定形 (あるいは不定形動詞) は「*不定動詞」とは呼ばない。

§ 67 (1)で述べたように、動詞定形（定動詞）は補文標識の有無に応じて従属文の文末（右枠）あるいは主文の第2位（左枠）を占める。西フリジア語ではこれは動詞不定形でも同様であり、3種類の不定詞のなかで第1不定詞と第2不定詞（動名詞）は右枠、第3不定詞（命令形不定詞）は左枠の位置を占める。詳細は動詞群の語順とともに後述する。

(2) 定形

動詞定形で明示される時制と法は発話状況それ自体にかんするものであり、人称・数は発話状況の関与者にかんするものである。

(a) 時制

時制には「現在」（de notiid）と「過去」（de doetiid）がある。時制としての現在形は過去形以外の広い意味を表わす。過去形はドイツ語やオランダ語と同様に、物語・回想・歴史的叙述のように日常生活に直接関係しないと話者が判断する出来事に用いる。日常生活に直接関係すると話者が判断する過去の出来事は完了形と時制を組み合わせる現在完了形として表現し、時制としては「現在」である。時制としての「未来」（de dantiid）はドイツ語やオランダ語と同様に確立していない。時間としての未来の意味は現在形で表現するか、‘sil（話法の助動詞 sille の現在形）…第1不定詞’などを用いて補足的に表現するにとどまる。

時制による語形は後述のように動詞の種類に応じて異なる。

(b) 法

法は「直説法」（de feitlike foarstelwize, de yndikatyf）と「命令法」（de hjittende foarstelwize, de ymperatyf）に分かれる。命令法（「命令形」とも言う）は原則として2人称を対象とし、親称・敬称や数による語形的な区別を示さず、1種類しかない。直説法は人称変化を示す。ドイツ語のような接続法（de {ûnfeitlike/net-feitlike} foarstelwize, de konjunktif）は今日ではほぼ存在せず、人称変化を示すのは直説法だけである。仮定や条件などの意味は‘soe（話法の助動詞 sille の過去形）…第1不定詞’などを用いて補足的に表現するにとどまる。

命令法の語形は後述のように動詞の種類によって異なる。

- ☞ 接続法は聖書のような文語的文体に限られ、今日ではほとんど廃れている。接続法を用いている 1933 年刊行の聖書 (G.A. Wumkes 訳) とそれを用いていない 1978 年刊行の聖書の次の箇所を比較 (正書法は原文のまま)。

Us Heit, dy't yn de himelen binne, Jins namme *wirde hillige*; Jins keninkryk *komme*; Jins wollen *barre* allyk yn 'e himel, sa ek op ierde; 「天にましますわれらが父よ。御名を崇めさせたまえ。御国を来らせたまえ。御心の天になるごとく、地にも来らせたまえ」 (It Nije Testamint 1933:17, Mattheüs 6 : 9-10)

Us Heit yn 'e himel, *lit* jo namme *hillige wurde*, *lit* jo keninkryk *komme*, *lit* jo wil *dien wurde* op ierde likegoed as yn 'e himel. 「同上」 (Bibel 1989² (1978) : 1379, Mattheüs 6 : 9-10)

次の表現に注意 (-sij は元来, wêze 「…である」の接続法現在形 3 人称単数)。itsij [ətséi] A, itsij B 「Aであれ, Bであれ」 itsij dat-従属文 「…であれ」

(c) 人称・数と人称語尾

人称と数による変化には 1 人称, 2 人称親称・敬称, 3 人称, および単数・複数の区別がある。

人称と数による語尾, すなわち「人称語尾」には時制の区別に応じて次の 2 種類があり, それぞれの時制の語幹の後につける。人称語尾は動詞のクラスにかかわらず, 下記の 1 種類である (現在形 3 人称単数が無語尾 (-∅)なのは過去現在動詞に限られる。過去形複数と 2 人称敬称の -(e)n/-ne(n) の使い分けについては § 70 (4)(b), 過去形 2 人称単数の -ste (稀) については § 71 (1) 参照)。複数形では現在・過去の両時制ともに人称語尾の区別がない。2 人称敬称単数形の語尾と語幹は現在・過去の両時制ともに複数形とつねに同じであり, 語形的に一致する。

- ☞ 複数形の人称語尾が 1 種類なのは歴史的に北海ゲルマン語の特徴である。

	現在		過去	
	単数	複数	単数	複数
1 人称	-∅	-e	-∅	-(e)n/-ne(n)
2 人称親称	-st/(稀-ste)	-e	-st	-(e)n/-ne(n)
敬称	-e	-e	-(e)n/-ne(n)	-(e)n/-ne(n)
3 人称	-t/(-∅)	-e	-∅	-(e)n/-ne(n)

(3) 不定形

不定形には3種類の不定詞 (de nammefoarm, de ynfinityf) と2種類の分詞 (it mulwurd, it partisipium) がある。第2不定詞あるいは動名詞 (de doelfoarm, it gerundium) は名詞的に、分詞は形容詞的・副詞的に用いことがある。分詞や不定詞を用いた英語やアイスランド語のような進行形はない。

(a) 不定詞

不定詞の語形は動詞の種類によって異なる。第1不定詞の末尾音には3種類あり、これによって西フリジア語の動詞は大きく3つのクラスに分かれる (Hoekstra 1997)。

「-e 動詞」：第1不定詞が -e [ə] で終わる。例. sile [sɪlə] 「帆走する」

「-je 動詞」：第1不定詞が -je [jə] で終わる。例. tankje [tāŋkjə] 「感謝する」

「-n 動詞」：第1不定詞が -n [n] で終わる。例. jaan [ja:n] 「与える」

3種類の不定詞はたがいに用法が異なる。辞書の見出し語としては第1不定詞で示す (誤解が生じないかぎり、第1不定詞のことをたんに「不定詞」と呼ぶことがある)。

① 第1不定詞 (「不定詞」)

不定詞語幹 + {-e/-je/-n} : sile/tankje/jaan

話法・使役の助動詞などとともに用いる。

② 第2不定詞 (動名詞)

不定詞語幹 + {-en/-jen/-n} : silen/tankjen/jaan

te (ド, zu, オ, te, エ, to) などとともに用いる。また、動詞の名詞化や知覚動詞構文などでも用いる。

③ 第3不定詞 (命令形不定詞)

不定詞語幹 + {-Ø/-je/不規則} : syl/tankje/jou [jou]

命令形と同じ語形を示す。用法は後述のように多岐にわたる。

☞ 北フリジア語にも3種類の不定詞がある。

(b) 現在分詞 (it {fuortsettend/trochsettend} mulwurd)

現在分詞は形容詞的・副詞的に用いる。英語の進行形のように助動詞とともに特別な構文を形成することはない。

現在分詞は第1不定詞に -nd[nt] をつけてつくる。副詞的に用いる場合には -nde [ndə] をつけることが多い。現在分詞の形成はつねに規則的なので、以下の変化表では省略する。

「-e 動詞」: silend/silende (← sile 「帆走する」)

(参考: wêzend/wêzende (← wêze 「…である, …がある・いる」)

「-je 動詞」: tankjend/tankjende (← tankje 「感謝する」)

「-n 動詞」: jaand/jaande (← jaan 「与える」)

(c) 過去分詞 (it ôfsluttend mulwurd)

過去分詞は形容詞的・副詞的に用いることがあるほか、一部の助動詞とともに以下のような構文を形成する。

過去分詞の語形は後述のように動詞の種類によって異なる。

① 完了形 (de folsleine tiid)

完了形は出来事それ自体にかんするものであり、出来事が他の出来事よりも時間的に先行することを示す。完了形は本来、不定形の範疇であり、定形の範疇である過去時制と違って、発話時点との時間的前後関係は表示しない。過去時制と競合するのは、完了形が現在時制と結びついた場合である。

完了形の語形は「過去分詞＋完了の助動詞 hawwe/wêze」であり、ドイツ語やオランダ語のような助動詞の区別がある。

② 受動態 (it passyf)

受動態は出来事それ自体と出来事の関与者との関係を示すものであり、「人称受動」と「非人称受動」、ならびに「動作受動」と「状態受動」の区別がある。人称受動は他動詞からつくり、非人称受動は自動詞からつくる。動作受動と状態受動では受動の助動詞が異なる。状態受動はオランダ語と同様に、動作受動の完了形と語形的に一致する。

「動作受動」: 「過去分詞＋受動の助動詞 wurde」

「状態受動」: 「過去分詞＋受動の助動詞 wêze」 (= 動作受動の完了形)

§ 69 語形変化による動詞の分類：概観

(1) 3つのクラスと下位分類

(a) 3つのクラス

§ 68 (3)(a)で述べたように、西フリジア語の動詞は第1不定詞の語末音の種類によって形態的に大きく3つのクラスに分かれる。代表的な例を付記して示す。

- ① 「-e 動詞」：第1不定詞＝‘不定詞語幹＋-e’

sile [sɪlə] 「帆走する」(←不定詞語幹 syl-)

- ② 「-je 動詞」：第1不定詞＝‘不定詞語幹＋-je’

tankje [tɒŋkjə] 「感謝する」(←不定詞語幹 tank-)

- ③ 「-n 動詞」：第1不定詞＝‘不定詞語幹 (不規則)＋-n’

jaan [ja:n] 「与える」(←不定詞語幹 (不規則) jaa-)

「-n 動詞」は7個に限られるが、「-e 動詞」と「-je 動詞」に属する動詞は数多い。「-je 動詞」は最近ではオランダ語の干渉を受けた話者にはあまり用いられない傾向があるが、派生語や外来語を取り入れる場合に用いる接尾辞 -earje [..jérjə] (オ. -eren, ド. -ieren; 例. studearje [stydjérjə] 「大学で学ぶ」) などを含み、生産的な役割をはたす。「-e 動詞」と「-je 動詞」の両方の語形をもつものもある。

damje [dámjə] — damme [dámə] 「(ダムで) せき止める」

driigje [drí:ɣjə] — drige [drí:ɣə] 「脅す」

kapje [kápjə] — kappe [kápə] 「たたき切る」

haatsje [há:tjə] — hate [há:tə] 「憎む」

partsje [pátjə] — parte [pátə] 「分配する」

(b) 下位分類

それぞれのクラスの動詞は「弱変化動詞」(it swakke tiidwurd)、「強変化動詞」(it sterke tiidwurd)、「過去現在動詞」(it tiidwurd mei opskode doetiid, preterito presentia) に分かれる。

弱変化動詞はさらに「規則動詞」(it regelmjittige tiidwurd)と「不規則動詞」(it ûnregelmjittige tiidwurd)に分かれる。強変化動詞と過去現在動

詞はすべて不規則動詞である。規則動詞と不規則動詞の区分は、不定詞語幹から現在形・過去形・過去分詞を導く場合に、音韻や正書法の規則から予測できない変化を起こすか否かによる。

- ① 弱変化動詞：母音交替（ド・Ablaut）による母音の変化を起こさない
→規則動詞/不規則動詞
- ② 強変化動詞：母音交替（ド・Ablaut）による母音の変化を起こす
→不規則動詞
- ③ 過去現在動詞：本来の過去形を現在形に転用している
→不規則動詞

(c) まとめ

以上の点を代表的な例を交えてまとめると次のようになる。

① 「-e 動詞」：第 1 不定詞＝‘不定詞語幹＋-e’

i) 弱変化動詞：規則動詞

sile [sɪlə] 「帆走する」, smoke [smɔ:kə] 「喫煙する」; love [lɔ:və] 「ほめる」, hearre [jɛrə] 「聞く」, (sette [sɛtə] 「置く」)

ii) 弱変化動詞：不規則動詞

tinke [tɪŋkə] 「考える」, riede [rɛdə] 「助言する」, kleie [kláɪə, kléɪə] 「嘆く」

iii) 強変化動詞：不規則動詞

helpe [hélpə] 「助ける」; jitte [jɪtə] 「注ぐ」, wêze [vé:zə] 「…である, …がある」

iv) 過去現在動詞：不規則動詞

kinne [kɪnə] 「…できる」

② 「-je 動詞」：第 1 不定詞＝‘不定詞語幹＋-je’

i) 弱変化動詞：規則動詞

tankje [táŋkjə] 「感謝する」; wenje [véʲjə] 「住む」, boartsje [bwátʃə] 「遊ぶ」, antwurdzje [ɔntvødʒə] 「答える」

ii) 弱変化動詞：不規則動詞

meitsje [máitʃə, méi..] 「作る」

iii) 強変化動詞：不規則動詞

waskje [vɔskjə] 「洗う」

③ 「-n 動詞」：第 1 不定詞＝‘不定詞語幹（不規則）+ -n’

強変化動詞：不規則動詞

jaan [ja:n] 「与える」

- ☞ 従来の西フリジア語の文法書には Fokkema (1967²: 55 ff.), Boersma/Van der Woude (1980²: 44 ff.) のように、強変化動詞、弱変化動詞、それ以外の不規則動詞という 3 分類を基本とし、それぞれの下位区分として「-e 動詞」, 「-je 動詞」, 「-n 動詞」を区別しているものが多い。しかし、この分類では「それ以外の不規則動詞」は不規則な弱変化動詞 (bliede 「出血する」など), 「-n 動詞」, 過去現在動詞を含み、雑多な範疇を形成しており、分類として明らかに矛盾している。一方、Tiersma (1985: 73) は弱変化動詞だけについて Class I を「-e 動詞」, Class II を「-je 動詞」と分け、残りを強変化動詞としている。しかし、強変化動詞にも nimme 「取る」と hingje 「掛かっている、掛ける」のように「-e 動詞」と「-je 動詞」の区別があり、分類として不十分である。この点は同書の 73 ページに示唆されているが、採用するには至っていない。Hoekstra/Tiersma (1994: 516 f.) の記述も十分に明晰とは言えない。本書では動詞の分類として、まず第 1 不定詞の末尾音の種類によって「-e 動詞」, 「-je 動詞」, 「-n 動詞」の 3 つのクラスを設け、それぞれのクラスについて弱変化動詞（規則動詞と不規則動詞を含む）、強変化動詞、過去現在動詞の区分を行なう。

強変化動詞と弱変化動詞、および過去現在動詞の区別は他のゲルマン語との関連から行なわれる伝統的な分類であり、西フリジア語では今日でもある程度有効ではあるものの、両者の区別があいまいな場合もある。まず、語幹母音の変化が母音交替によるものか不明確な場合が認められる（例。riede [rɪdə] 「助言する」-rette [rɛtə]-ret [rɛt], skiede 「分ける」-skate-skaat: とともに歴史的に「短母音化」（§ 9）による母音変化を起こした不規則な弱変化動詞）。また、「-je 動詞」の弱変化動詞は過去形と過去分詞で歯茎音の接尾辞 -te/-t, -de/-d を用いない。したがって、meitsje [máitʃə, méi.] 「作る」-makke [mákə]-makke [mákə] は弱変化動詞であるにもかかわらず、不規則な母音の変化によって過去形と過去分詞を形成する（上述の文法書では、上記の 3 つの不規則な弱変化動詞を「弱変化動詞」から区別して「不規則動詞」に含めるという矛盾した分類を行なっている）。さらに、§ 70 (2)(c) で示すように、melde 「伝える」（過去分詞 meld(en) [mɛlt, (mɛldən)]), sette [sɛtə] 「置く」（過去分詞 set(ten) [sɛt(ən)]) のように弱変化動詞でありながら、過去分詞に強変化動詞と同

様に -en を付加するものもある。つまり、母音交替、歯茎音の接尾辞 -te/-t, -de/-d, 過去分詞の -en という基準がかいずれも決定的な役割を果たすとは言えず、弱変化動詞と強変化動詞の区別はかならずしも明快ではない。したがって、とくに教育的な立場からは、両者の区別よりも規則動詞（規則的な弱変化動詞）と不規則動詞（不規則な弱変化動詞、強変化動詞、過去現在動詞）の区別のほうが明快である。この扱いは英語の語形変化による動詞の分類に近い。

(2) 語幹と人称語尾

動詞は形態的に「語幹」と「人称語尾」からなる。語幹はさらに「語根」と「語幹形成要素」から成る。「-e 動詞」と「-n 動詞」の語幹は語根と一致するが、「-je 動詞」の語幹は語根と -je/-e の 2 種類の語幹形成要素から構成される。本書では「-je 動詞」の語幹形成要素 -je による語幹を「-je 語幹」と呼び、語幹形成要素 -e による語幹を「-e 語幹」と呼ぶことにする。「-e 語幹」は現在形 2 人称親称・3 人称単数と過去形、過去分詞に用い、「-je 語幹」はそれ以外に用いる。

- ☞ 従来の文法書は「-je 動詞」に「-je 語幹」と「-e 語幹」の区別を設けず、語根を語幹とし、語幹形成要素を人称語尾としているものが多い。

ik {tankje/tanke} 「私は感謝 {する/した}」

- i) 従来の文法書の扱い

tank (語幹) -je (人称語尾)

tank (語幹) -e (人称語尾)

- ii) 本書の扱い

[tank (語根) -je (語幹形成要素)] (=「-je 語幹」) -∅ (人称語尾)

[tank (語根) -e (語幹形成要素)] (=「-e 語幹」) -∅ (人称語尾)

従来の文法書の扱いでは 1 種類の語幹を設定するだけですむかわりに、時制の区別に応じて 2 種類の人称語尾を設定しなければならず、「-e 動詞」を含めれば、人称語尾の数はさらに増えることになる。時制と人称の関係も不明確である。本書の扱いによれば、「-je 動詞」の語幹を 2 種類設定することによって「-e 動詞」を含めても 1 種類の人称語尾を設定するだけですむことになり、時制の形成と人称語尾の区別も明確になる。Tiersma (1985: 71) にも同様の示唆があるが、採用するには至っていない。

語幹には定形・不定形で複数の種類があり、動詞の 3 つのクラスによっても異なる。各々の語幹の形成は「-e 動詞」では不定詞語幹が基本となるが、

「-je 動詞」では「-e 語幹」/「-je 語幹」が基本になる。

定形の人称語尾は現在形と過去形で異なるが、動詞の3つのクラスにはほぼ共通している。

以下では「-e 動詞」と「-je 動詞」について規則的な弱変化動詞の語形変化の一覧を示す（発音記号は省略）。-(e)は発音上、あいまい母音 e [ə] の連続を嫌って -e が現われない場合である。

	「-e 動詞」（弱変化動詞）	「-je 動詞」（弱変化動詞）
	sile [sílə] 「帆走する」	tankje [táŋkjə] 「感謝する」
〈不定形〉		
不定詞		
不定詞語幹	語根と同じ (語根 syl-+-Ø) syl- (←[syl-Ø])	「-je 語幹」 (語根 tank-+-je) tankje- (←[tank-je])
第1 不定詞： (「不定詞」)	不定詞語幹+-e sile (← syl-e)	「-je 語幹」+-e tankje (←[tank-je]-(e))
第2 不定詞： (動名詞)	不定詞語幹+-en silen (← syl-en)	「-je 語幹」+-e)n tankjen (←[tank-je]-(e)n)
第3 不定詞： (命令形不定詞)	不定詞語幹と同じ syl	「-je 語幹」と同じ tankje (←[tank-je])
現在分詞	第2 不定詞+{-d/-de} silend/silende (← silen-d/silen-de)	第2 不定詞+{-d/-de} tankjend/tankjende (← tankjen-d/tankjen-de)
過去分詞	不定詞語幹+ -t (無声音の直後) -d (有声音の直後) syld (← syl-d)	「-e 語幹」+Ø tanke (←[tank-e]-Ø)

〈定形〉

命令形	不定詞語幹と同じ syl	「-je 語幹」と同じ tankje (←[tank-je])
現在形		
現在形語幹：	不定詞語幹と同じ syl-	「-je 語幹」/「-e 語幹」と同じ [tank-je]-/[tank-e]-
単数		
1 人称	現在形語幹＋-∅ ik syl (← syl-∅)	「-je 語幹」＋-∅ tankje (←[tank-je]-∅)
2 人称親称	現在形語幹＋-st (do) sylst (← syl-st)	「-e 語幹」＋-st tankest (←[tank-e]-st)
敬称	現在形語幹＋-e jo sile (← syl-e)	「-je 語幹」＋-(e) tankje (←[tank-je]-(e))
3 人称	現在形語幹＋-t hy sylt (← syl-t)	「-e 語幹」＋-t tanket (←[tank-e]-t)
複数		
1 人称	現在形語幹＋-e wy sile (← syl-e)	「-je 語幹」＋-(e) tankje (←[tank-je]-(e))
2 人称	現在形語幹＋-e jimme sile (← syl-e)	「-je 語幹」＋-(e) tankje (←[tank-je]-(e))
3 人称	現在形語幹＋-e hja sile (← syl-e)	「-je 語幹」＋-(e) tankje (←[tank-je]-(e))
過去形		
過去形語幹：	不定詞語幹＋ -te (無声音の直後) -de (有声音の直後) [syl-de]-	「-e 語幹」と同じ [tank-e]-∅-
単数		
1 人称	過去形語幹＋-∅ ik sylde (←[syl-de]-∅)	「-e 語幹」＋-∅ tanke (←[tank-e]-∅)

2 人称親称	過去形語幹 + -st	「-e 語幹」+ -st
	(do) syldest (←[syl-de]-st)	tankest (←[tank-e]-st)
敬称	過去形語幹 + -(e)n	「-e 語幹」+ -(e)n
	jo sylden (←[syl-de]-(e)n)	tanken (←[tank-e]-(e)n)
3 人称	過去形語幹 + -∅	「-e 語幹」+ -∅
	hy sylde (←[syl-de]-∅)	tanke (←[tank-e]-∅)
複数		
1 人称	過去形語幹 + -(e)n	「-je 語幹」+ -(e)n
	wy sylden (← sylde-(e)n)	tanken (←[tank-e]-(e)n)
2 人称	過去形語幹 + -(e)n	「-je 語幹」+ -(e)n
	jimme sylden (← sylde-(e)n)	tanken (←[tank-e]-(e)n)
3 人称	過去形語幹 + -(e)n	「-je 語幹」+ -(e)n
	hja sylden (← sylde-(e)n)	tanken (←[tank-e]-(e)n)

☞ 本書で示す動詞の語形変化は原則として Eisma (1989) に基づく。同書は西フリジア語の代表的な教育機関である AFUK (=Algemiene Fryske Underrjocht Kommisje) が 1985 年に定めた言語規範を動詞の語形変化において初めて具体的に示した刊行物である。同機関主催の西フリジア語の講習では動詞の語形変化の教育は同書に基づいて行なわれており、同機関の刊行する数多くの書籍でも同書の語形が広く採用されている。この意味で同書の記述はこの分野での標準的なものと言える。しかし、言語規範の弱い西フリジア語では方言差や文体差に基づく異形が数多く認められ、他の文法書や辞書との相違点が少なくない。なかでも Breuker (1989, 1990) は 50 の強変化動詞について、Eisma (1989) の記述を 1863 年から 1985 年までに刊行された 8 つの文法書と 2 つの辞書と詳細に比較し、厳しく批判している。Breuker (1989, 1990) の批判は実証的な立場から Eisma (1989) の問題点を指摘した功績はあるが、考慮した文法書と辞書の相互にも相違点が目立つのであり、Eisma (1989) にかわる規範を十分明確に提唱するには至っていない。扱った動詞も 50 の強変化動詞に限られており、Eisma (1989) に記載された 200 の動詞の 4 分の 1 にすぎない。このような理由から、本書では Eisma (1989) を基本としながらも、Breuker (1989, 1990) の批判を念頭に置きつつ、最近の刊行物のなかから Eisma (1989) 自身が記述のよりどころとした Zantema (1984) の辞書、それに Fokkema (1967²), Stienstra (1975²), Boersma/Van der Woude (1980²), Tiersma

(1985)の4つの著作との比較を注で交えて解説していくことにする。このなかで Boersma/Van der Woude (1980²) の記述は網羅的なものではないので、必要に応じて示すにとどめる。

§ 70 「-e 動詞」

(1) 弱変化動詞：規則動詞 I

規則的な音の変化さえも伴わないものがこれに属する。過去形語幹と過去分詞には不定詞語幹の末尾音に応じて以下の接尾辞を付加する (§ 19 (3)(c))。

過去形語幹

過去分詞

不定詞語幹末尾音 無声音：不定詞語幹 + -te [tə] 不定詞語幹 + -t [t]

有声音：不定詞語幹 + -de [də] 不定詞語幹 + -d [t]

(a) 不定詞語幹末尾音が無声音：語幹 + {-te [tə]/-t [t]}

smoke[smō:kə]「喫煙する」(現在形語幹 smook-, 過去形語幹 smookte-)

現在

過去

単数 1 人称	ik	smook	[smo:k]	ik	smookte	[smō:ktə]
2 人称親称	(do)	smookst	[smo:kst]	(do)	smooktest	[smō:ktəst]
敬称	jo	smoke	[smō:kə]	jo	smookten	[smō:ktən]
3 人称	hy	smookt	[smo:kt]	hy	smookte	[smō:ktə]
	hja	smookt	[smo:kt]	hja	smookte	[smō:ktə]
	it	smookt	[smo:kt]	it	smookte	[smō:ktə]
複数 1 人称	wy	smoke	[smō:kə]	wy	smookten	[smō:ktən]
2 人称	jimme	smoke	[smō:kə]	jimme	smookten	[smō:ktən]
3 人称	hja	smoke	[smō:kə]	hja	smookten	[smō:ktən]
過去分詞	smookt [smō:kt]					
現在分詞	smokend(e) [smō:kənt, (..də)]					

(以下、「現在形語幹」, 「過去形語幹」, 「現在」, 「過去」の表示と現在分詞は省略。3 人称単数は hy, 複数形は 3 人称の hja で代表させる。2 人称敬称単数 (jo) は複数 (wy/jimme/hja) とつねに同形なので省略)

(b) 不定詞語幹末尾音が有声音：語幹+{-de [də]/-d [t]}

① telle [tɛlə] 「数える」 (tel-, telde-)

ik	tel	[tɛl]	ik	telde	[tɛldə]
(do)	telst	[tɛlst]	(do)	teldest	[tɛldəst]
hy	telt	[tɛlt]	hy	telde	[tɛldə]
hja	telle	[tɛlə]	hja	telden	[tɛldən]
過去分詞			teld	[tɛlt]	

② mije [mɛiə] 「避ける」 (mij-, mijde-)

ik	mij	[mɛi]	ik	mijde	[mɛidə]
(do)	mijst	[mɛist]	(do)	mijdest	[mɛidəst]
hy	mijt	[mɛit]	hy	mijde	[mɛidə]
hja	mije	[mɛiə]	hja	mijden	[mɛidən]
過去分詞			mijd	[mɛit]	

(2) 弱変化動詞：規則動詞 II

規則的な弱変化動詞のなかで規則的な音の変化を伴うものがこれに属する。

(a) 「語末音の無声化」 (§ 14)

語幹末尾が閉鎖音の場合には d [d]/[t], b [b]/[p] のように有聲・無声を正書法で区別しないが、摩擦音の場合には f [f]/v [v], s [s]/z [z], ch [x]/g [ɣ] のように正書法で区別する。ただし、無声化した摩擦音 [f], [s], [x] は有聲閉鎖音の直前で「同化」 (§ 19 (2)(a)) によってさらに有聲化するが、正書法では -gde [ɣdə] を除いて無声 f, s, ch の表記をする。

-ve [və] → -fde [vdə]; -fd [ft], -ft [ft]/-fst [fst]

-ze [zə] → -sde [zdə]; -sd [st], -st [st]

⇔ -ge [ɣə] → -gde [ɣdə]; -gd [xt], -cht [xt]/-chst [xst, kst]

① love [lɔ:və] 「ほめる」 (loof-, loofde-)

ik	loof	[lɔ:f]	ik	loofde	[lɔ:vdə]
(do)	loofst	[lɔ:fst]	(do)	loofdest	[lɔ:vdəst]

hy	looft	[lo:ft]	hy	loofde	[lɔ:vðə]
hja	love	[lɔ:və]	hja	loofden	[lɔ:vðən]

過去分詞 loofd [lo:ft]

② wize [vɪ:zə] 「示す」 (wiis-, wiisde-)

2 人称親称単数では「二重子音の縮約」 (§ 16 ss → s) に注意。

ik	wiis	[vi:s]	ik	wiisde	[vɪ:zdə]
(do)	wiist	[vi:st]	(do)	wiisdest	[vɪ:zdəst]

(← wiis-st)

hy	wiist	[vi:st]	hy	wiisden	[vɪ:zdə]
hja	wize	[vɪ:zə]	hja	wiisden	[vɪ:zdən]

過去分詞 wiisd [vi:st]

③ doge [dɔ:ɣə] 「役に立つ (おもに否定で)」 (語幹 dooch-, doogde-)

ik	dooch	[do:x]	ik	doogde	[dɔ:ɣdə]
(do)	doochst	[do:xst, ..kst]	(do)	doogdest	[dɔ:ɣdəst]
hy	doocht	[do:xt]	hja	doogden	[dɔ:ɣdən]
hja	doge	[dɔ:ɣə]			

過去分詞 doogd [do:xt]

(b) 「r の脱落」 (§ 15)

r は歯茎音 [s], [z], [l], [d], [t], [n] の直前で脱落する。

hearre [jɛrə] 「聞く」 (hear-, hearde-)

ik	hear	[jɛr]	ik	hearde	[jédə]
(do)	hearst	[jɛst]	(do)	hearde	[jédəst]
hy	heart	[jɛt]	hy	hearde	[jédə]
hja	hearre	[jɛrə]	hja	hearden	[jédən]

過去分詞 heard [jɛt]

(c) 「t の脱落」 (§ 17) と「二重子音の縮約」 (§ 16) および過去分詞の -en

語幹が d, t で終わる動詞では, s が直後に続く場合にその d, t が発音上, 脱落する。語幹が d で終わる場合には①の「語末音の無声化」 (§ 14) も起こる。「二重子音の縮約」 (§ 16 dd → d, tt → t) は発音, 正書法ともに起こるこ

とに注意。過去分詞に -en [ən] がつくものがある。

① 過去分詞に -en がつかないもの

過去分詞に -en がつかない動詞はまったく規則的である。

taaste [tá:stə] 「手で触れる」 (taast-, taaste-)

ik taast [ta:st] ik taaste [tá:stə] (← taast-te)

(do) taastst [ta:st] (do) taastest [tá:stəst] (← taast-test)

hy taast [ta:st] hy taaste [tá:stə] (← taast-te)

(← taast-t)

hja taaste [tá:stə] hja taasten [tá:stən] (← taast-ten)

過去分詞 taast [ta:st] (← taast-t)

類例: stelle [stélə] 「立てる, 調整する」 (steld [stəlt])

lije [líə] 「苦しむ, 被る」 (lit [lɪt], lijd [leit], (3)(b)⑤)

② 過去分詞に -en がつくことがあるもの

例外的に過去分詞に -en [ən] がつくものがかなりある。

melde [méldə] 「伝える」 (meld-, melde-)

ik meld [mɛlt] ik melde [méldə] (← meld-de)

(do) meldst [mɛlst] (do) meldest [méldəst] (← meld-dest)

hy meldt [mɛlt] hy melde [méldə] (← meld-de)

hja melde [méldə] hja melden [méldən] (← meld-den)

過去分詞 meld [mɛlt]/melden [méldən] (← meld-d)

類例: prate [prá:tə] 「話す」 (praat [pra:t]/praten [prá:tən])

sette [sétə] 「置く」 (set [sɛt]/setten [sétən])

spjalte [spjǽltə] 「(薪などを) 割る, 割れる」 (spjalt [spjǽlt]/spjalten [spjǽltən])

spâlte [spó:ltə] 「同上」 (spâlt [spo:lt]/spâltten [spó:ltən])

fiede [fiədə] 「養う, 食物を与える」 (fied [fiət]/fieden [fiədən])

- -en は元来, 強変化動詞の過去分詞につき, 弱変化動詞にはつかなかった。
- en が語幹が d, t で終わる弱変化動詞にもつくようになったのは, この種の動詞が歴史的に ge- の消失と「二重子音の縮約」 (§ 16 dd → d, tt → t)

によって過去分詞としての形態的な指標を完全に欠くに至った結果、それを別の手段で明示しようとしたためと考えられる。したがって、-en は過去分詞としての形態的な役割を広く果たしていると言える。オランダ語とドイツ語の語形を参照。

フ. meld/melden (← melde 「伝える」)

⇒オ. gemeld (← melden 「同上」), ド. gemeldet (← melden 「同左」)

フ. set/setten ← sette 「置く」

⇒オ. gezet (← zetten 「同上」), ド. gesetzt (← setzen 「同左」)

逆に、語幹が n で終わる強変化動詞は母音交替 (ド. Ablaut) はあるものの、過去分詞の末尾音 -en を欠く。この種の動詞ではとくに南部の方言で過去分詞に本来、弱変化動詞につく -d をつけて過去分詞の形態を明示することがある (Tiersma 1985:73)。

フ. bûn, 南部. bûnd (← bine 「巻く」)

⇒オ. gebonden (← binden 「同上」), ド. gebunden (← binden 「同左」)

フ. sjoen, 南部. sjoend (← sjen 「見る」)

⇒オ. gezien (← zien 「同上」), ド. gesehen (← sehen 「同左」)

フ. dien, 南部. diend (← dwaan 「する」)

⇒オ. gedaan (← doen 「同上」), ド. getan (← tun 「同左」)

(3) 弱変化動詞：不規則動詞

母音交替 (ド. Ablaut) 以外の不規則な母音の変化と子音の変化を示すものがこれに属し、(a)と(b)の二つに分かれる。(a)は過去形と過去分詞の語形だけが不規則であり、ごく少数の動詞に限られるのになお、(b)は現在形も不規則であり、ある程度の数の動詞を含み、さらに下位区分される。

(a) 不規則動詞 I

{inke/inge}—ocht—ocht (第1不定詞/現在形—過去形—過去分詞)

過去形と過去分詞が不規則な動詞がこれに属する。過去形に -t の語形があることに注意。次の2つの動詞のみ。

bringe [brɪŋə] 「持つてくる・いく」 (bring-, brocht-)

ik bring [brɪŋ]

ik brocht [brɔxt]

(do) bringst [brɪŋst]

(do) brochtst [brɔxst, ..kst]

hy bringt [brɪŋt]

hy brocht [brɔxt]

hja brinke [brɪŋə]

hja brochten [brɔxtən]

過去分詞 brocht [brɔxt]

類例: tinke [tɪŋkə] 「思う, 考える」(過去形 tocht(e)- [tɔxt(ə)])

「-je 動詞」に属する sykje [sɪkjə] 「探す, 求める」, keapje [kɛpjə] 「買う」も類似した変化を示す (§ 71 (4)(b))。

- ☞ 歴史的には n の消失(およびそれに伴う母音の「代償延長」(de fergoedingsrekking) 一後に短母音化した) の結果として生じた閉鎖音の連続 kt を嫌って, k が摩擦音化した (kt > cht)。

(b) 不規則動詞 II

現在形 2 人称親称・3 人称単数, 過去形, 過去分詞で不規則な動詞がこれに属し, 次の 2 つのグループに分かれる。

まず, ①から⑥までのグループは原則として語幹が d, t で終わり, 母音の変化とともに語幹末尾音も t になる。交替する語幹母音の種類から見れば,

e [ɛ]: ① bliede 「出血する」, ② moete 「会う」

a(a) [a:]: ③ skiede 「分ける, 離婚させる」, ④ stjitte 「突く」

i [I]: ⑤ lije 「苦しむ, 被る」

となり, 以下の注で述べるように, 歴史的に「短母音化」 (§ 9) を被ったものである。⑥ rêde 「救う, 世話をする」では現在形 2 人称親称・3 人称単数での語幹母音の交替が認めにくく, 歴史的な由来も異なる。

一方, ⑦から⑨までのグループは語幹が i [i] を含む二重母音と g [ɣ] の交替を示し, 「-je 動詞」 (§ 71) の弱変化動詞と同様に, 過去形および過去分詞で接尾辞 -de/-te, -d/-t を欠き, 2 人称親称単数で現在形と過去形が同形になる (-e の付加については § 71 (1) 参照)。

ともに規則的な変化形が併存することが多く, 現在形でその傾向が強い。

- ☞ ① riere [rɪərə] 「かき回す」, sliepe [slɪəpə] 「眠る」は語幹が d, t 以外で終わる。⑤ lije [lɛiə] 「苦しむ, 被る」は古くは語幹が d で終わっていた(古フ. litha)。

- ☞ 歴史的には①から⑤までの動詞の母音変化は, 現在形 2 人称親称・3 人称単数, 過去形, 過去分詞を形成する接尾辞ないし人称語尾の付加に伴う「短母音化」 (§ 9) によって生じた。そのさい, 調音位置が 1 段下がった

(Hoekstra 1989: 130, Spenter 1968: 16)。

i) 古フ. *ē* [e:] (西フ. *ie* [iə]) > *e* [ɛ]

① *bliede* [blīdē] 「出血する」 (*blied*-[iə]/*blet*-[ɛ]; 古フ. *blēda*)

② *moete* [mūētē] 「会う」 (*moet*-[uə]/*met*-[ɛ]; 古フ. *mēta*)

ii) 古フ. [æ:] (西フ. *ie* [iə]) > [a] > [a:] (後続する二重子音の単子音化に伴う「代償延長」(*de fergoedingsrekking*))

③ *skiede* 「分ける, 離婚させる」 (*skied*-[iə]/*skaat*-[a:]; 古フ. *skēda*)

④ *stjitte* 「突く」 (*stjit*-[jI]/*staat*-[a:]; 古フ. *stēta*)

古フ. [[æ:] (西フ. *ie* [iə]) > [a] > [a:] (後続する二重子音の単子音化に伴う「代償延長」(*de fergoedingsrekking*))

iii) 古フ. [i:] (西フ. *ij* [ei]) > *i* [I]

⑤ *lije* [līiə] 「苦しむ, 被る」 (*lij*-[ei]/*lit*-[I]; 古フ. *lītha*)

一方, ⑥の *rēde* [rē:de] 「救う, 世話をする」 (*rēd*-[ɛ:]/*ret* [ɛ]) は古フリジア語の *hredda* が示すように, ①から⑤とは逆に, 歴史的に有声子音 *d* の前で *e* が長母音化を起こした (§ 9 (2)(d))。

また, ⑦ *feie* [fāiə, fēiə] 「掃く」 (*fei*-[ai, ei]/*fage*-[a:γə]), ⑧ *koaie* [kō:ie] 「噛む」 (*koai*-[o:i]/*kōge*-[ɔ:γə]), ⑨ *krije* [krēiə] 「もらう」 (*krij*-[ei]/*kriige*-[i:γə]/*kriich*-[i:x]/*krych*-[ix]) は歴史的に *g* の口蓋化による交替を示す。

- ☞ 現在形で 2 人称親称単数・3 人称単数が語幹の交替を起こすのは, 現象自体で見れば, 現代ドイツ語のウムラウト (ド. *Umlaut*) やいわゆる「割れ」 (ド. *Brechung*) による交替に似ている (ただし, 古くは以下の *helfen* 「助ける」 (語幹母音 *e*) では現在形単数のすべての人称に交替が及んでいた)。
helfen [hēlfən] 「助ける」 (*du hilfst* [hɪlfst], *er hilft* [hɪlft])
schlagen [ʃlā:gən] 「打つ」 (*du schlägst* [ʃlɛ:kst], *er schlägt* [ʃlɛ:kt])
stoßen [ʃtō:sən] 「突く」 (*du stößt* [ʃtø:st], *er stößt* [ʃtø:st])
laufen [lāʊfən] 「歩く, 走る」 (*du läufst* [lɔʏfst], *er läuft* [lɔʏft])
 以下①から⑨までの西フリジア語の弱変化動詞は過去形や過去分詞でも同様の語幹の交替を起こす。一方, 語幹母音が [i:] を示す強変化動詞で歴史的におもに第 I 系列に属するものは (例. *ride* [rīdē] 「乗り物で行く・運ぶ」 (古フ. *rida*), *smite* [smītē] 「投げつける」 (古フ. *smīta*), 今日では短母音化が現在形のすべてに及んでいるが, かつては 2 人称 (親称) と 3 人称単数に限られていた。Hoekstra (1989) によれば, この形態的に不均一な状態は 17 世紀のギスベト・ヤーピクス (Gysbert Japicx 1603-1666) の作品にもまだ見られる。

① *ie* [iə]—*e* [ɛ]—*e* [ɛ]—*e* [ɛ]

bliede [blīdē] 「出血する」 (*blied*-/*blet*-, *blette*-)

ik	blied	[bliət]	ik	bllette	[blétə]
(do)	bletst	[bləst]	(do)	blettest	[blétəst]
	bliedst	[bliəst]			
hy	blet	[blət]	hy	bllette	[blétə]
	bliedt	[bliət]			
hja	bliede	[blíədə]	hja	bletten	[blétən]

過去分詞 blet [blət]

類例：briede [bríədə] 「(食べ物を) 焼く；卵を抱く」(過去形 (do) bret(te)st [bré(tə)st])

liede [líədə] 「(教会の鐘などが) 鳴る」(過去形 (do) lettest [létəst] のみ)

riede [ríədə] 「助言する」(現在形 (do) retst [rəst], hy ret [rət] のみ；過去形 (do) rettest [rétəst] のみ)

riere [riərə] 「かき回す」(規則変化も併存，不定詞語幹が r で終わる)

☞ Tiersma (1985: 80 ff.) は riede 「助言する」の現在形にも規則的な ie の語形を併記している。Fokkema (1967²: 63 f.) は上記の動詞すべてについて過去形と過去分詞にも規則的な ie の語形を併記している。過去分詞には blieden, brieden のように -en ((2)(c)) を伴った語形を挙げているが，Stienstra (1975²: 5, 10) は blied, bried と記している。Zanema (1984: 114, 138) は bliede 「出血する」と briede 「(食べ物を) 焼く；卵を抱く」の過去形に (do) bletste, breste のように -e のついた語形だけを挙げている (§ 71 (1))。Hoekema (1992: 31) は (do) bletst, hy blet; (do) bletst のみ。他の語も同様。

次の動詞は「割れ」 (§ 10) による変化を起こすこともある (語幹が p で終わることに注意)。

sliepe [slíəpə] 「眠る」(sliep-[iə]/[jɪ]/slep-, slepte-/slepte-[jɪ])

ik	sliep	[slíəp]	ik	slepte	[sléptə]
				slepte	[sljǐptə]
(do)	slepst	[sləpst]	(do)	sleptest	[sléptəst]
	sliepst	[sljǐpst]		sleptest	[sljǐptəst]

hy	slept	[slɛpt]	hy	slepte	[slɛptə]
	sliept	[sljɪpt]		sliepte	[sljɪptə]
hja	sliepe	[slɪəpə]	hja	slepten	[slɛptən]
				slepten	[sljɪptən]

過去分詞 slept [slɛpt], sliept [sljɪpt], sliepen [slɪəpən]

② oe [uə]—e [ɛ]—e [ɛ]—e [ɛ]

①に準じるもので、類例はない。

moete [múətə] 「会う」 (moetsje [múətʃə])

ik	moet	[muət]	ik	moete	[múətə]
				mette	[mɛtə]
(do)	moetst	[muəst]	(do)	moetst	[múəstə]
	metst	[mɛst]		metst	[mɛtə]
hy	moet	[muət]	hy	moete	[múətə]
	met	[mɛt]		mette	[mɛtə]
hja	moete	[múətə]	hja	moeten	[múəten]
				metten	[mɛten]

過去分詞 moet [muət], met [mɛt]

☞ Stienstra (1975²: 10) も第1不定詞に moete と moetsje の2つの語形を記している。Fokkema (1967²: 64) と Zantema (1984) は moete, moetsje, mette の3つの語形を挙げている。Tiersma (1985: 82) は moetsje だけを示している。Fokkema (1967²: 64) と Stienstra (1975²: 10) は過去分詞に moet(e) [múət(ə)] を併記している。Hoekema (1992: 38) は (do) metst, hy met; (do) metst, hy mette のみ。

☞ 歴史的には①と同様である。

古フ. ē [e:] (西フ. ie [iə]) > e [ɛ]

① bliede [blɪədə] 「出血する」 (blied- [iə] / blet- [ɛ]; 古フ. blēda)

② moete [múətə] 「会う」 (moet- [uə] / met- [ɛ]; 古フ. mēta)

③ ie [iə]—aa [a:]—a [a:]—aa [a:]

skiede [skɪədə] 「分ける, 離婚させる」 (skied- / skaat-, skate- / skiede-)

ik	skied	[skiət]	ik	skate	[ská:tə]
				skiede	[skɪədə]

(do)	skiedst [skiəst]	(do)	skiedest [skíədəst]
	skaatst [ska:st]		skatest [skā:təst]
hy	skiedt [skiət]	hy	skiede [skíədə]
	skaat [ska:t]		skate [skā:tə]
hja	skiede [skíədə]	hja	skaten [skā:tən]
			skieden [skíədən]

過去分詞 skaat [ska:t], skieden [skíədən] (-en (2)(c))

類例: deie [dáiə, déiə] 「殺す」(過去形 (do) daatst [da:st], deidest [dáidəst, déi..])

次の2語は過去形で a(a)の語形だけを用いる。

liede [líədə] 「導く」, spriede [spríədə] 「広げる」

☞ Tiersma (1985: 85 ff.) は上記の語すべての現在形に a(a)の語形を示さず, liede「導く」と spriede「広げる」には過去形と過去分詞でも規則的な ie の語形を示している(過去分詞は lieden, sprieden のように -en ((2)(c)) を伴う)。Fokkema (1967²: 63) は deie「殺す」を除くすべての語に ie と a(a)の両方の語形を記した上で, a(a)の語形は現在形ではあまり用いず, 過去形でよく用いと述べている。Boersma/Van der Woude (1980²: 50) は skiede「分ける, 離婚させる」と spriede「広げる」では規則的な ie の語形がよく現われると述べている。Zanema (1984) は skiede「分ける, 離婚させる」の現在形を示しておらず, 過去形と過去分詞に ie と a(a)の両方の語形を記し, 他の3語では現在形, 過去形, 過去分詞に ie と a(a)の両方の語形を記している。なお, Tiersma (1985: 85) には deie「殺す」の記載がなく, Fokkema (1967²: 63) もこの語に a(a)による語形を認めていない。Stienstra (1975²) は skiede「分ける, 離婚させる」の現在形には ie と a(a)の両方, 過去形と過去分詞には a(a)の語形だけを示しながら, deie「殺す」ではすべての変化で ie と a(a)の両方の語形を示し, さらに, liede「導く」では現在形と過去形に ie と a(a)の両方, 過去分詞に a(a)の語形だけを示している。spriede「広げる」の記載はない。Hoekema (1992: 41) は (do) skaatst, hy skaat; (do) skaatst, hy skate のみ。他の語も同様。deie「殺す」には deadzje [dǎdʒə] 「同左」という異形があり, 元来, 形容詞 dea [dǎ] 「死んだ」から派生した使役動詞である。古フリジア語の語形は dēda 「殺す」であり, skiede「分ける, 離婚させる」(古. skēda) と同じ語幹母音だった。

④ ji [jI] —aa [a:] —a [a:] —aa [a:]

③に準じるもので、語幹が「割れ」 (§ 10) を起こしている (ie[ia] > ji[jI])。規則的な ji [jI] の語形が一般的である。類例はない。

stjitte [stjItə] 「突く」 (stjit-/staat-, state-/stjitte-)

ik	stjit	[stjIt]	ik	stjitte	[stjItə]
				state	[stá:tə]
(do)	stjittst	[stjIst]	(do)	stjittest	[stjItəst]
	staatst	[sta:st]		statest	[stá:təst]
hy	stjit	[stjIt]	hy	stjitte	[stjItə]
	staat	[sta:t]		state	[stá:tə]
hja	stjitte	[stjItə]	hja	stjitten	[stjItən]
				staten	[stá:tən]

過去分詞 stjitten [stjItən] (-en(2)(c)), staat [sta:t]

⇒ Stienstra (1975²: 12) は上記と同様だが, Boersma/Van der Woude (1980²: 50) は stjitte 「突く」 ではほとんどつねに規則的な ji の語形を用いると述べている。一方, Tiersma (1985: 88) と Zantema (1984: 985) は過去形と過去分詞に a(a) と ji の語形を併記しているが, 前者は現在形に a(a) の語形を記しておらず, 後者にも現在形の記載がない。Fokkema (1967²: 63) は a(a) の語形は現在形ではあまり用いず, 過去形でよく用いると述べている。Hoekema (1992: 44) は (do) staatst, hy staat; (do) staatst, hy state のみ。

⑤ ij [ei] —i [I] —i [I] —i [I]

次の動詞のみ。

lije [léia] 「苦しむ, 被る」 (lij-/lit-, litte-/lijde-)

ik	lij	[lei]	ik	litte	[lItə]
				lijde	[léidə]
(do)	litst	[lIst]	(do)	littest	[lItəst]
	lijst	[leist]		lijdest	[léidəst]
hy	lit	[lIt]	hy	litte	[lItə]
	lijt	[leit]		lijde	[léidə]

hja lije [lɛiə]

hja litten [lɪtən]

lijden [lɛidən]

過去分詞 lit [lɪt], lijd [lɛit]

☞ Stienstra (1975²: 9), Boersma/Van der Woude (1980²: 51), Zantema (1984: 572), Tiersma (1985: 83) のいずれも上記の語形を記載している。Fokkema (1967²: 65) も現在形 2 人称親称単数に lijst だけを示している以外は同様である。Hoekema (1992: 37) は (do) litst, hy lit; (do) litst, hy litte のみ。

⑥ ê [ɛ:] -e [ɛ:] -e [ɛ] -e [ɛ]

次の動詞のみ。現在形 2 人称親称単数・3 人称単数では語幹母音の交替が認めにくい。

rêde [rɛ:də] 「救う, 世話をする」 (rêd-, rette-/rêde-)

ik rêd [rɛ:t]

ik rette [rɛtə]

rêde [rɛ:də]

(do) rêdst [rɛ:st]

(do) rettest [rɛtəst]

rêdest [rɛ:dəst]

hy rêdt [rɛ:t]

hy rette [rɛtə]

rêde [rɛ:də]

hja rêde [rɛ:də]

hja retten [rɛtən]

rêden [rɛ:dən]

過去分詞 ret [rɛt], rêden [rɛ:dən] (-en (2)(c))

☞ Stienstra (1975²: 10) と Zantema (1984: 801) は上記と同様だが, Tiersma (1985: 83) と Fokkema (1967²: 65) は現在形に e [ɛ] による語形 ((do) retst [rɛst], hy ret [rɛt]) を併記している。Hoekema (1992: 39) は e による語形のみ。

⑦ ei [ai, ɛi] -age [a:ɣə] -age [a:ɣə] -age [a:ɣə]

以下の⑨までの動詞は不定詞と現在形 1 人称単数と複数で語幹に i [i] を含む二重母音が現われ, その他の語形では語幹に g [ɣ] が現われる。現在形には規則的な変化もある。

feie [fáia, féia] 「掃く」 (fei-/fage-, fage-)

ik	fei	[fai, fɛi]	ik	fage	[fá:γə]
(do)	fagest	[fá:γəst]	(do)	fagest	[fá:γəst]
	feist	[faist, fɛist]			
hy	faget	[fá:γət]	hy	fage	[fá:γə]
	feit	[fait, fɛit]			
hja	feie	[fáiə, féiə]	hja	fagen	[fá:γən]
過去分詞 fage [fá:γə]					

⇒ 過去形 2 人称親称単数が fageste (Eisma 1989: 13) のように -e を伴うことがあることについては § 71 (1) 参照。

類例：現在形では規則的な ei の語形を欠く。

jeie [jáiə, jéiə] 「狩りをする, 追いたてる」, kleie [kláiə, kléiə] 「嘆く, 不平を言う」

⇒ Stienstra (1975²: 6, 8) と Tiersma (1985: 80 f.) は上記の語形を記載している。一方, Fokkema (1967²: 65) はこのほかに過去形と過去分詞で規則的な ei の語形を併記している (feide-, feid)。Zantema (1984: 236, 456) は feie 「掃く」と jeie 「狩りをする, 追いたてる」の現在形に ei と age の語形を記しているが, kleie 「嘆く, 不平を言う」の現在形は記載がない。Hoekema (1992: 33) は (do) fagest, hy faget; (do) fagest, hy fage のみ。他の語も同様。

⑧ oai [oi] —ôge [ɔ:γə] —ôge [ɔ:γə] —ôge [ɔ:γə]

次の動詞のみ。

koaie [kó:iə] 「噛む」 (koai-/kôge-, kôge-)

ik	koai	[ko:i]	ik	kôge	[kó:γə]
(do)	kôgest	[kó:γəst]	(do)	kôgest	[kó:γəst]
	koaist	[ko:ist]		koaidest	[kó:ɪdəst]
hy	kôget	[kó:γət]	hy	kôge	[kó:γə]
	koait	[ko:it]		koaide	[kó:ɪdə]
hja	koaie	[kó:iə]	hja	kôgen	[kó:γən]
				koaiden	[kó:ɪdən]

過去分詞 kôge [kó:γə], koaid [ko:it]

- ☞ Stienstra (1975²: 8) は過去形と過去分詞で *ôge* の語形のみを記している。Fokkema (1967²: 66) は規則的な *oai* の語形をまったく併記していない。逆に, Zantema (1984: 514) は *koaie* の項目には規則的な *oai* の語形だけを示し, *ôge* の語形は *kôgje* の項目だけで示している。Tiersma (1985: 87) と Hoekema (1992: 36) にはこの語の記載がない。

⑨ *ij* [ei] -ige [i(:)γə] -ige [i(:)γə] -ige [i(:)γə]

過去形には異形がある。次の動詞のみ。

krije [kréiə] 「もらう」 (*krij-/krige-*, *krige-/kriich-/krych-*)

ik	<i>krij</i>	[kréi]	ik	<i>krige</i>	[krí(:)γə]
				<i>kriich/krych</i>	[krí(:)x]
(do)	<i>krigest</i>	[krí(:)γəst]	(do)	<i>krigest</i>	[krí(:)γəst]
	<i>krijst</i>	[kréist]		<i>kriichst/krychst</i>	[krí(:)xst, ..kst]
hy	<i>kriget</i>	[krí(:)γət]	hy	<i>krige</i>	[krí(:)γə]
	<i>krijt</i>	[kréit]		<i>kriich/krych</i>	[krí(:)x]
<i>hja</i>	<i>krije</i>	[kréiə]	<i>hja</i>	<i>krigen</i>	[krí(:)γən]

過去分詞 *krige* [krí(:)γə], *krigen* [krí(:)γən]

- ☞ 過去形 2 人称親称単数が *krigeste/kriichste* (Zantema 1984: 537) のように *-e* を伴うことがあることについては § 71 (1) 参照。
- ☞ 過去形単数については, *krige* のほかに Zantema (1984: 537) が *ii* による語形を記し, Tiersma (1985: 81) と Fokkema (1967²: 65) が *y* による語形を記している。Stienstra (1975²: 8) は *krige* のみを示している。Hoekema (1992: 36) は (do) *krigest*, *hy kriget*; (do) *krigest*, *hy krige* のみ。

(4) 強変化動詞

強変化動詞はすべて不規則動詞である。大多数の強変化動詞が「*-e* 動詞」に属する。(2) で扱った規則的な変化による交替を起こすものも多く含まれるが, 以下の分類ではとくに考慮しない。以下では過去分詞の末尾音の種類 ((a)), 過去複数形の末尾音 *-ne(n)* [nə(n)] ((b)), その他 ((c)(d)(e)) について記す。

(a) 過去分詞の末尾音の種類

① 過去分詞 -en [ən]

直前に母音や r, n が来ない場合。大多数の強変化動詞がこれに属する。

helpe [hɛlpə] 「助ける」 (help-, holp-)

ik	help	[hɛlp]	ik	holp	[holp]
(do)	helpst	[hɛlpst]	(do)	holpst	[holpst]
hy	helpt	[hɛlpt]	hy	holp	[holp]
hja	helpe	[hɛlpə]	hja	holpen	[hɔlpən]

過去分詞 holpen [hɔlpən]

② 過去分詞 -n

直前に母音や r が来る場合。過去形複数では -en の語尾がつく。-iuwe [jywə, jo:wə] で終わる強変化動詞の過去形には規則的な弱変化もある。

i) 過去分詞母音 + -n

-iuwe [jywə, jo:wə] で終わるもの。

bliuwe [bljýwə, bljô:wə] 「とどまる」 (bliuw-, bleau-/bliuwde-)

ik	bliuw	[bljyu, bljo:u]	ik	bleau	[bljo:u, bløə]
				bliuwde	[bljýudə, bljô:udə]
(do)	bliuwst	[bljyust, bljo:ust]	(do)	bleaust	[bljo:ust, bløəst]
				bliuwdest	[bljýudəst, bljô:udəst]
hy	bliuwt	[bljyust, bljo:ust]	hy	bleau	[bljo:u, bløə]
				bliuwde	[bljýudə, bljô:udə]
hja	bliuwe	[bljýwə, bljô:wə]	hja	bleauwen	[bljô:wən]
				bleaune(n)	[bløəne(n)]
				bliuwden	[bljýudən, bljô:udən]

過去分詞 bleaun [bløən]

弱変化の過去形は後代の類推による (Boersma/Van der Woude 1980²: 46)。Fokkema (1967²: 70) と Hoekema (1992: 31) は過去形に弱変化を記していない。Hoekema (1992: 31) は過去形複数 -wen のみ。他の語も同様。

類例：driuwe [drjýwə, drjô:wə]「駆りたてる，漂う」，kliuwe [kljýwə, kljô:wə]「登る」，piuwe [pjýwə, pjô:wə]「いよいよ食べる」，priuwe [prjýwə, prjô:wə]「(…の)味がする，味わう」，riuwe [rjýwə, rjô:wə]「連ねる，(真珠などを)ひもなどに通す」，skriuwe [skrjýwə, skrijô:wə]「書く」，triuwe [trjýwə, trjô:wə]「押す」，wiuwe [wjýwə, wjô:wə]「(合図のために手やハンカチなどを)振る」，wriuwe [wrjýwə, wrjô:wə]「こする，磨く」

その他。

bidde [bɪdə]「祈る」，fleane [flɛnə]「飛ぶ」，lizze [lɪzə]「横たわっている，横たえる」，siede [sɪdə]「沸騰する・させる」，sizze [sɪzə, sé:zə]「言う」(本来，弱変化)，snije [snɛiə]「切る」，spije [spɛiə]「唾を吐く，吐く」，swije [swɛiə]「黙っている」

ii) 過去分詞 r+-n

stjerre [stjɛrə]「死ぬ」(stjer-, stoar-)

ik stjer [stjɛr]

ik stoar [stoər]

(do) stjerst [stjɛst]

(do) stoarst [stoəst]

hy stjert [stjɛt]

hy stoar [stoər]

hja stjerre [stjɛrə]

hja stoaren [stɔərən]

過去分詞 stoarn [stoən]

類例：bedjerre [bɛdjɛrə]/ferdjerre [fɛdjɛrə]「腐る，損傷する」，farre [fárə]「船で行く・運ぶ」，ferlieze [fɛlɪzə]「失う」

③ 過去分詞 -Ø (無語尾)

直前に n が来る場合。過去形複数では-en の語尾がつく。

fine [fɪnə]「見つける」(fyn-, fûn-)

ik fyn [fin]

ik fûn [fu(:)n]

(do) fynst [fi:nst]

(do) fûnst [fu:nst]

hy fynt [fint]

hy fûn [fu(:)n]

hja fine [fɪnə]

hja fûnen [fu(:)nən]

過去分詞 fûn [fu(:)n]

類例: begjinne [bəgiɲnə] 「始まる, 始める」, bine [biɲnə] 「結ぶ」, ferdwine [fədwiɲnə] 「消える」, kwine [kwɲnə] 「衰弱する」, rinne [riɲnə] 「歩く」, spinne [spiɲnə] 「(糸を) 紡ぐ」, swine [swɲnə] 「消える」, ûntginne [untgiɲnə] 「開墾する, 干拓する」, wenne [vɛɲnə] 「慣らす, 慣れる」, wine [viɲnə] 「巻く」, winne [viɲnə] 「勝つ, 獲得する」

④ 過去分詞 -t, -d

弱変化との混合であり, 過去形だけが強変化し, 弱変化が併存する。語幹は '短母音 + {k/p}' で終わる。

dûke [dúkə] 「潜る」 (dûk-, doek-/dûk-)

ik	dûk	[duk]	ik	doek	[du:k]
				dûkte	[dúktə]
(do)	dûkst	[dukst]	(do)	doekst	[du:kst]
				dûktest	[dúktɛst]
hy	dûkt	[dukt]	hy	doek	[du:k]
				dûkte	[dúktə]
hja	dûke	[dúkə]	hja	doeken	[dú:kən]
				dûkten	[dúktən]

過去分詞 dûkt [dukt]

類例: beswike [bəswíkə] 「屈服する」, finge [fiɲgə] 「発火する」, knipe [knípə] 「つねる」, rûke [rúkə] 「(…の) においがする, 嗅ぐ」, skoppe [skôpə] 「蹴る」, stappe [stâpə] 「踏む, 歩む」, strûpe [strúpe] 「むく, (…の皮を) はぐ」, wike [víkə] 「退く」

(b) 過去形複数 -ne(n) [nə(n)]

強変化動詞のなかには過去形複数の末尾音として -ne と -nen が併存するものがある。それは以下のもっとも頻繁に用いる基本的な動詞 (ないし助動詞) であり, 過去形単数が二重母音で終わる。

hawwe [háwə] 「もっている, 完了の助動詞」 (hie [hiə], hiene(n) [hiəne(n)])

kinne [kɪnə] 「…できる, …かもしれない」 (koe [kuə], koene(n)

[kúənə(n)]

lizze [lízə, lé:zə] 「横たわっている, 横たえる」 (lei [lai, lei], leine(n) [láinə(n), léi..])

sille [sílə] 「…だろう (など)」 (soe [suə], soene(n) [súənə(n)])

sizze [sízə, sé:zə] 「言う」 (sei [sai, sei], seine(n) [sáinə(n), séi..])

wêze [vé:zə] 「…である, …がある, 完了の助動詞」 (wie [viə], wiene(n) [vīənə(n)])

wolle [vólə] 「…したい」 (woe [vuə], woene(n) [vúənə(n)])

一部の「-n 動詞」もこれに属する (§ 72)。

dwaan [dwa:n] 「する」 (die [diə], diene(n) [dīənə(n)])

gean [gIən] 「行く」 (gie [giə], giene(n) [gīənə(n)])

stean [stIən] 「立っている」 (stie [sia], stiene(n) [stīənə(n)])

歴史的には -n を欠くのが本来の語形だったが, 過去形複数で -n をつける大多数の他の動詞との類推から -nen が広がった。Eisma (1989 : 16) は両方の語形を挙げているが, -n のつかない -ne の語形を優位に置いている (以下, 「過去形 3 人称単数/複数」の順)。

次の動詞は過去形複数の末尾音 -ne が一般的である (Eisma 1989 : 16)。

snije [snéiə] 「切る」 (snie [sniə], sniene [snīənə])

ただし, snije [snéiə] 「雪が降る (非人称動詞)」は規則的な弱変化動詞。

spije [spéiə] 「唾を吐く, 吐く」 (spei [spai, spei], speine [spáinə, spéinə])

-ne(n) とする意見もある。

(c) 子音の変化による交替を起こすもの

① j [j] (不定詞・現在形) -g [g] (過去形・過去分詞)

jitte [jítə] 「注ぐ」 (jit-, geat-)

ik jit [jIt]

ik geat [gIət]

(do) jitst [jIst]

(do) geatst [gIəst]

hy jit [jIt] (← jit-t)

hy geat [gIət]

hja jitte [jítə]

hja geaten [gíətən]

過去分詞 gotten [gétən]

- ☞ Tiersma (1985 : 86) と Fokkema (1967² : 71) は過去分詞に *getten* [gétən] と *jitten* [jítən] を併記している。Zantema (1984 : 461) と Hoekema (1992 : 35) は *getten* のみ。

類例 : *ferjitte* [fəjítə] 「忘れる」(過去分詞 *fergetten* [fəgétən] , *ferjitten* [fəjítən]), *jilde* [jíldə] 「有効である, …の値段である」(規則的な弱変化も併存)

- ② *sj* [ʃ] (不定詞・現在形) — *sk* [sk] (過去形・過去分詞)

「t の脱落」と「二重子音の縮約」((2)(c)) を起こすことに注意。

sjitte [ʃítə] 「撃つ」(*sjit-*, *skeat-*)

ik sjit [ɪt]

ik skeat [skɪət]

(do) *sjitst* [ɪst]

(do) *skeatst* [skɪəst]

hy sjit [ɪt] (← *sjit-t*)

hy skeat [skɪət]

hja sjitte [ʃítə]

hja skeaten [skɪətən]

過去分詞 *sketten* [skétən]

- ③ ‘子音 + j’ (不定詞・現在形) — ‘子音 + Ø’ (過去形・過去分詞)

sj [ʃ] — *s* [s]

sjonge [ʃɔŋə] 「歌う」

ik sjonge [ɔŋ]

ik song [soŋ]

(do) *sjongst* [ɔŋst]

(do) *songst* [soŋst]

hy sjongt [ɔŋt]

hy song [soŋ]

hja sjonge [ʃɔŋə]

hja songen [sɔŋən]

過去分詞 *songen* [sɔŋən]

その他。

dj [dj] — *d* [d] : *bedjerre* [bədjéɾə] , *ferdjerre* [fədjéɾə] 「腐る, 損傷する」

gj [gj] — *g* [g] : *begjinne* [bəgiɪnə] 「始める, 始まる」

hj [j] — *h* [h] : *hjitte* [jítə] 「…という名前である」

mj [mj] — *m* [m] : *mjitte* [mjítə] 「測定する」

stj [stj] — *st* [st] : *stjerre* [stjéɾə] 「死ぬ」, *stjonke* [stjɔŋkə] 「悪臭

がする」

- ④ k(k) (不定詞・現在形) - k/ts (過去形) - ts (過去分詞)
- sprekke [sprékə] 「公言する」 (sprek-, spriek-/spruts)
- | | | | | | |
|------|---------|-----------|------|----------|-------------------------|
| ik | sprek | [sprək] | ik | spriek | [spriək] |
| | | | | spruts | [sprøts] |
| (do) | sprekst | [sprækst] | (do) | spriekst | [spriækst] |
| | | | | sprutst | [sprøtst] (← spruts-st) |
| hy | sprekt | [sprækt] | hy | spriek | [spriək] |
| | | | | spruts | [sprøts] |
| hja | sprekke | [sprékə] | hja | sprieken | [spriækən] |
| | | | | sprutsen | [sprøtsən] |

過去分詞 sprutsen [sprøtsən]

類例: brekke [brékə] 「割る, 割れる」, dekke [dékə] 「覆う」 (規則的な弱変化も併存), lūke [lúkə] 「引っぱる」, rekke [rékə] 「伸びる, 伸ばす」, stekke [stékə] 「突き刺す, 痛む, 差し込む」, strike [striəkə] 「なでる, アイロンをかける」, trekke [trékə] 「引っぱる, (鳥などが) 渡る」

次の動詞は過去形 k の語形のみ。

berekke [bérékə] 「(火を) 灰で覆う」, strekke [strékə] 「のばす, 十分である」, wreke [vré:kə]/wrekke [vrékə] 「復讐する」 (規則的な弱変化も併存。「-je 動詞」の wreekje [vré:kjə]/wrekje [vrékjə] もある)

- ⑤ z-r の交替を起こすもの

- i) z (不定詞・現在形) - r (過去形・過去分詞)

ferlieze [fəlīəzə] 「失う」 (ferlies-, ferlear-)

ik	ferlies	[fəlīəs]	ik	ferlear	[fəlīər]
(do)	ferliest	[fəlīəst] (← ferlies-st)	(do)	ferlearst	[fəlīəst]
hy	ferliest	[fəlīəst]	hy	ferlear	[fəlīər]
hja	ferlieze	[fəlīəzə]	hja	ferlearen	[fəlīərən]

過去分詞 ferlern [fəlén]

ii) z (不定詞・現在形)－r (過去形)－z (過去分詞)

過去分詞で「音位転換」(ド. Metathese)を起こす点でも不規則である。

frieze [fríəzə] 「氷が張る (非人称動詞)」(fries-, frear-)

it friest [friəst] it frear [frIər]

過去分詞 ferzen [fézən]

☞ 歴史的に「ヴェルナーの法則」(ド. Vernerisches Gesetz)による「子音字交替」(ド. grammatischer Wechsel)に起因する。

⑥ d (不定詞・現在形)－∅ (過去形・過去分詞)

biede [bíədə] 「提供する」(bied-, bea-)

ik bied [biət] ik bea [bIə]

(do) biedst [biəst] (do) beast [bIəst]

hy biedt [biət] hy bea [bIə]

hja biede [bíədə] hja beaen [bíəən]

過去分詞 bean [bIən]

類例: bidde [bíIdə] 「祈る」(規則的な弱変化も併存), siede [síədə] 「沸騰する・させる」

(d) 「-n 動詞」と類似した変化をするもの

fleane [flíənə] 「飛ぶ」(flean-/fljoch-, fleach-)

ik flean [flíən] ik fleach [flIəx]

fljoch [fljox]

(do) fljochst [fljoxst, ..kst] (do) fleachst [flIəxst, ..kst]

hy fljocht [fljoxst] hy fleach [flIəx]

hja fleane [flíənə] hja fleagen [flíəγən]

fljogge [fljôγə]

過去分詞 flein [flain, flein]

(e) 補充形 (ド. Suppletivform) やその他の不規則な語形を示すもの

① 補充形

wêze [vé:zə] 「…である, …がある; 完了の助動詞」

ik bin [bIn] ik wie [viə]

(do)	bist	[bɪst]	(do)	wiest	[viəst]
hy	is	[ɪs]	hy	wie	[viə]
hja	binne	[bɪnə]	hja	wiene(n)	[viənə(n)]
過去分詞 west [vɛst]					

② その他の不規則な語形

hawwe [háwə] 「もっている；完了の助動詞」

ik	ha(w)	[ha(f), ha(v)]	ik	hie	[hiə]
(do)	hast	[hast]	(do)	hiest	[hiəst]
jo	ha(wwe)	[há(və)]	jo	hiene(n)	[hiənə(n)]
hy	hat	[hat]	hy	hie	[hiə]
hja	ha(wwe)	[há(və)]	hja	hiene(n)	[hiənə(n)]

過去分詞 hân [hɔ:n]

☞ ha(w) [ha(f), ha(v)] の正書法と発音については Tiersma (1985 : 25, 44) 参照。

このほかに ha(bbe) [há(bə)], he(bbe) [hé(bə)], he(wwe) [hé(və)] という語形があり、現在形が以下のように異なる (WFT 8 (1985 : 173))。

ik	{ha(b) [ha(p)]/he(b) [he(p)]/he(w) [he(f)]}
(do)	{hast [hast]/hest [hest]}
jo	{ha(bbe) [há(bə)]/he(bbe) [hé(bə)]/he(wwe) [hé(və)]}
hy	{hat [hat]/het [het]}
hja	{ha(bbe) [há(bə)]/he(bbe) [hé(bə)]/he(wwe) [hé(və)]}

(5) 過去現在動詞

過去現在動詞はすべて不規則動詞である。

(a) 話法の助動詞

kinne [kɪnə] 「…できる, …かもしれない」(kin-, koe(n)-)

ik	kin	[kɪn]	ik	koe	[kuə]
(do)	kinst	[ke:ⁿst]	(do)	koest	[kuəst]
hy	kin	[kɪn] (← kin-Ø)	hy	koe	[kuə]

hja kinne [kɪnə] aja koene(n) [kœnə(n)]

過去分詞 kinnen [kɪnən], kind [kɪnt]

類例：語形変化については「話法の助動詞」の項目で後述。

meie [māiə, mēiə] 「…するのが好きだ, …してもいい」

moatte [m(w)ātə] 「…しなければならない, …にちがいない」

sille [sɪlə] 「…だろう (など)」

wolle [vɔlə] 「…したい」 (歴史的には本来, 過去現在動詞ではない)

(b) 話法の助動詞以外

kenne [kɛnə] 「知っている」 (ken-, koe-)

ik ken [kɛn] ik koe [kœ]

(do) kenst [kɛnt] (do) koest [kœst]

hy ken [kɛn] (← ken-∅) hy koe [kœ]

aja kenne [kɛnə] aja koene(n) [kœnə(n)]

過去分詞 kennen [kɛnən], kend [kɛnt]

類例：witte [vɪtə] 「知っている」 (ただし, 過去現在動詞と見なさないことも可能である。現在形 hy wit (← wit-∅ (過去現在動詞) または wit-t (強変化動詞))。

ik wit [vɪt] ik wist [vɪst]

(do) witst [vɪst] (do) wist [vɪst] (← wist-st)

hy wit [vɪt] hy wist [vɪst]

aja witte [vɪtə] aja wisten [vɪstən]

過去分詞 witten [vɪtən]

☞ wite [vɪtə] 「同上」もある。

§ 71 「-je 動詞」

(1) まとめと過去形 2 人称親称単数 -st(e)

(a) まとめ

「-je 動詞」にも弱変化動詞と強変化動詞の両方がある。弱変化の「-je 動詞」(sykje[sɪkjə]「探す」を除く)は過去形と過去分詞で歯茎音の接尾辞 -te/-de,

-t/-d を欠き、2 人称親称単数が現在形と過去形で同形になる (Meijering 1980)。強変化の「-je 動詞」は「-e 動詞」と同様に母音交替 (F. Ablaut) を起こす。

☞ 過去形と過去分詞で歯茎音の接尾辞を欠く弱変化動詞はノルウェー語 ニューノシュクやフェーロー語にも見られる (Werner 1993)。

(b) 過去形 2 人称親称単数 -st(e)

過去形 2 人称親称単数は規則的な -st のほかに -ste で終わる場合がある。この -e の付加はそれほど一般的でないので、本書では Eisma (1989 : 12 f.) に従って -e を付加しない語形だけを示す。

① 「-je 動詞」の -st(e)

「-je 動詞」では 2 人称親称単数が現在形と過去形で同形だが、これを嫌って過去形の語末に -e を加え、形態的に区別することがある。

現在形 (do) harkest — 過去形 (do) harkest(e) (← harkje [hārkjə] 「注意して聞く」)

② 「-e 動詞」の -st(e)

feie [fáiə, fēiə] 「掃く」 (§ 70 (3)(b)⑦), krije [kréiə] 「得る」 (§ 70 (3)(b)⑨) のように、過去形で接尾辞 -te/-de を欠く「-e 動詞」も①と同様である。

現在形 (do) {fagest/krigest} — 過去形 (do) {fagest(e)/krigest(e)}

不規則な「-e 動詞」である bliede [blíədə] 「出血する」でも、現在形と過去形が同形になる場合に限って -e がつくことがある。

現在形 (do) bletst — 過去形 (do) {blettest/bletst(e)}

☞ 過去形として Stienstra (1975² : 3) は bletst(e), Zantema (1984 : 114) は blettest, bletste, Eisma (1989 : 29) は blettest, bletst, Hoekema (1992 : 31) は bletst と記している。

Sitenstra (1975 : 1 ff.) は次のような今日ではふつう用いない -st(e) の語形を記している (現行の正書法に変更)。

(do) stapst(e) (ふつう stapest) (← stappe [stápa] 「踏む, 歩む」)

(do) bûchst(e) (ふつう bûgdest) (← bûge [bū:ɣə] 「曲げる」)

(do) rûnst(e) (ふつう rûnst) (← rinne [rīnə] 「歩く, 動く, 流れる」)

☞ 歴史的には現在形と過去形を形態的に区別する「-e 動詞」でも、かつては

2 人称親称単数が現在形と過去形で同形になることがあった (Eisma 1989 : 12f., Hoekema 1992 : 28)。

現在形 (do) mienst(e)—過去形 (do) mienst(e)/miendest (← miene [míənə] 「思う」)

現在形 (do) bakst(e)—過去形 (do) bakst(e)/baktest (← bakke [bákə] 「(パンなどを) 焼く」)

-e の付加はかつての異形態の機能分化の結果であると言える。

Stienstra (1975 : 1 ff.) では動詞の種類に関係なく、過去形 2 人称親称単数を -st(e) としている。その他の用例：

Dû *kaamste*, dû *kaamste* sa stadich deroan. 「あなたはやって来た、あなたはやって来た。とてもゆっくりと」 (S. Kloosterman: "Tûzenen..")

(2) 弱変化動詞：規則動詞 I

(a) 典型的な例

規則的な音の変化さえも伴わないものがこれに属する。

winskje [vé:ⁿskjə] 「願う」 (winskje-/winske-, winske-)

ik	winskje	[vé: ⁿ skjə]	ik	winske	[vé: ⁿ skə]
(do)	winskest	[vé: ⁿ skəst]	(do)	winskest	[vé: ⁿ skəst]
hy	winsket	[vé: ⁿ skət]	hy	winske	[vé: ⁿ skə]
hja	winskje	[vé: ⁿ skjə]	hja	winsken	[vé: ⁿ skən]
過去分詞		winske	[vé: ⁿ skə]		

(b) -earje [jérjə] で終わるもの

-earje [jérjə] は動詞を派生する生産的な接尾辞であり、派生語や外来語にも好んで用いる。語幹母音の「割れ」 (§ 10) を明示するために「-e 語幹」で子音 r を重ねてつづる。

studearje [stydjérjə] 「大学で学ぶ」 (studearje-/studearre-, studearre-)

ik	studearje	[stydjérjə]	ik	studearre	[stydjérə]
(do)	studearrest	[stydjérəst]	(do)	studearrest	[stydjérəst]
hy	studearret	[stydjérət]	hy	studearre	[stydjérə]
hja	studearje	[stydjérjə]	hja	studearren	[stydjérən]
過去分詞		studearre	[stydjérə]		

類例：avensearje [avə⁽ⁿ⁾ʃérjə] 「前進する」, kontrolearje [kontrəlérjə] 「管理する, 検査する」, notearje [notjérjə] 「メモする」, organisearje [órɣaniérjə] 「企画運営する, 組織する」, wurdearje [vødjérjə] 「評価する, たたえる」

(3) 弱変化動詞：規則動詞 II

規則的な音の変化による交替を起こすものがこれに属する。

(a) 鼻音化 (§ 8)

‘母音+n’は摩擦音と流音の直前で鼻母音になる。「-je 動詞」では [j] のほかには [s], [z] にほぼ限られる。

wenje [véⁿjə] 「住む」 (wenje-/wenne-, wenne-)

ik	wenje	[vé ⁿ jə]	ik	wenne	[vé ⁿ ə]
(do)	wennest	[vé ⁿ əst]	(do)	wennest	[vé ⁿ əst]
hy	wennet	[vé ⁿ ət]	hy	wenne	[vé ⁿ ə]
hja	wenje	[vé ⁿ jə]	hja	wennen	[vé ⁿ ən]

過去分詞 wenne [véⁿə]

類例：bûnzje [bú:ⁿʒə] 「強くノックする, (心臓が)ドキドキする」, dûnsje [dú:ⁿjə] 「ダンスをする」, skjinje [skíⁿjə] 「掃除する」, tsjinje [tʃíⁿjə] 「仕える, 役に立つ」

あいまい母音 [ə] の脱落を伴うものについては(c)②参照。

(b) 「破擦音化」 (§ 18 (5))

‘tsje [tʃə] - te [tə]’, ‘dzje [dʒə] - de [də]’ の交替を起こすものがある。

① tsje [tʃə] - te [tə]

boartsje [bwátʃə] 「遊ぶ」 (boartsje-/boarte-, boarte-)

ik	boartsje	[bwátʃə]	ik	boarte	[bwátə]
(do)	boartest	[bwátəst]	(do)	boartest	[bwátəst]
hy	boartet	[bwátət]	hy	boarte	[bwátə]
hja	boartsje	[bwátʃə]	hja	boarten	[bwátən]

過去分詞 boarte [bwátə]

類例: fetsje [fétʃə]「つかむ, 理解する」, groetsje [grúətʃə]「挨拶する」,
rotsje [rótʃə]「腐る」, sáltsje [sótʃə]「塩をかける, 塩漬けにする」,
tútsje [týtʃə]「キスをする」

次の動詞は -stje [ʃə] で終わり, 「t の脱落」 (§ 17) によって 'stje [ʃə]
— ste [stə]' の交替を起こす。

hoastje [wáʃə]「せきをする」

ik	hoastje	[wáʃə]	ik	hoaste	[wástə]
(do)	hoastest	[wástəst]	(do)	hoastest	[wástəst]
hy	hoastet	[wástət]	hy	hoaste	[wástə]
hja	hoastje	[wáʃə]	hja	hoasten	[wástən]

過去分詞 hoaste [wástə]

類例: haastje [há:ʃə]「急がせる」, feestje [fé:ʃə]「祝う」, fêstje [fé:ʃə]/
festje [fɛʃə]「断食する」, gêstje [gé:ʃə]/gestje [gɛʃə]「発酵する」, kistje
[kíʃə]「棺に収める」

② dzje [dʒə] — de [də]

antwurdzje [ʒntvødʒə]「答える」(antwurdzje-/antwurde-, antwurde-)

ik	antwurdzje	[ʒntvødʒə]	ik	antwurde	[ʒntvødə]
(do)	antwurdest	[ʒntvødəst]	(do)	antwurdest	[ʒntvødəst]
hy	antwurdet	[ʒntvødət]	hy	antwurde	[ʒntvødə]
hja	antwurdzje	[ʒntvødʒə]	hja	antwurden	[ʒntvødən]

過去分詞 antwurde [ʒntvødə]

類例: arbeidzje [árbaɪdʒə, ..bei..]「働く」, breidzje [bráɪdʒə, bréi..]
「編む」, hoedzje [húədʒə]「保護する」, wâdzje [vó:dʒə]「(水の中を)
歩いて渡る」, wreidzje [vráɪdʒə, vréi..]「繁茂する, 広がる」

(c) あいまい母音 [ə] の脱落

3 音節以上の「-je 動詞」では, あいまい母音 [ə] が連続すると, これを
嫌って語末の -et [ət], -est [əst] の e [ə] が脱落することがあり, 正書法
でも表記する。

hannelje [hónəlʃə]「商売する, 行動する」

ik	hannelje	[hónəlɟə]	ik	hannele	[hónələ]
(do)	hannel(e)st	[hónəl(ə)st]	(do)	hannel(e)st	[hónəl(ə)st]
hy	hannel(e)t	[hónəl(ə)t]	hy	hannele	[hónələ]
hja	hannelje	[hónəlɟə]	hja	hannelen	[hónələn]
過去分詞 hannele [hónələ]					

☞ これ以外にも発音上、あいまい母音 [ə] の脱落は「[ə]+鳴音」が同一音節にある場合 (hja hannelen) でも起こり、「音節化」 (§ 20) を伴う。

類例: dūzelje [dú:zəlɟə] 「めまいがする (非人称動詞)」, knibbelje [kníβəlɟə] 「ひざまづく, 値切る」, hongerje [hóngərɟə] 「空腹である」, simmerje [símərɟə] 「夏になる, 夏らしい (非人称動詞)」, timmerje [tímərɟə] 「(建物を) 木材で建てる」

① i [ə] などを含む動詞

語幹が e [ə] ではなく, i [ə] などを含む場合にも同様の脱落が見られる (Hoekema 1992: 29)。

例. billikje [bíləkɟə] 「承認する」 ((do) billik(e)st [bílək(ə)st], hy billik(e)t [bílək(ə)t])

hilligje [híləɟə] 「神聖にする, あがめる」 ((do) {hilligest [híləɟəst]/hillichst [híləxst, ..kst]}, hy {hilliget [híləɟət]/hillicht [híləxt]})

② 「鼻音化」 (§ 8) による交替を起こすもの

あいまい母音 [ə] の脱落とともに「鼻音化」 (§ 8) による交替を起こすものがある ((a))。

oefenje [úfəⁿɟə] 「練習する」 ((do) oefen(e)st [úfənəst, (úfəⁿ)st], hy oefen(e)t [úfən(ə)t])

rekkenje [rékəⁿɟə] 「計算する, 考慮する」 ((do) rekken(e)st [rékənəst, (rékəⁿ)st], hy rekken(e)t [rékən(ə)t])

tekenje [té:kəⁿɟə] 「(絵などを) 描く, 署名する」 ((do) teken(e)st [té:kənəst, (té:kəⁿ)st], hy rekken(e)t [té:kən(ə)t])

☞ あいまい母音 [ə] が脱落した語形は「-e 動詞」の語形と同一になり, 「-je 動詞」の特徴を失うことになる。今日, 「-je 動詞」はオランダ語の影響で

衰退し、「-e 動詞」に移行しつつある。オランダ語との距離を保とうとする西フリジア語の規範として、Eisma (1989: 13) はあいまい母音 [ə] の脱落しない語形を優位に置いている。

- (d) {ouje [ɔujə]/auje [ɔujə]} – {ouwe [ɔuə]/auwe [ɔuə]}

§ 12 (3)(c)参照。

touje [tɔujə] 「寝言を言う」

ik touje [tɔujə]

ik touwe [tɔuə]

(do) touwest [tɔuəst]

(do) touwest [tɔuəst]

hy touwet [tɔuət]

hy touwe [tɔuə]

hja touje [tɔujə]

hja touwen [tɔuən]

過去分詞 touwe [tɔuə]

類例

- i) ouje [ɔujə] – ouwe [ɔuə]

rouje [rɔujə] 「喪に服する, 悼む」, skouje [skɔujə] 「しりごみする, はばかり」, souje [sɔujə] 「濾す, ふるいにかける」

- ii) auje [ɔujə] – auwe [ɔuə]

dauje [dɔujə] 「露が降りる (非人称動詞)」, flauje [flɔujə] 「静まる, 弱まる」, gauje [gɔujə] 「ねだる, せがむ」, kauje [kɔujə] 「かむ」

(4) 弱変化動詞：不規則動詞

- (a) 子音変化と母音変化

- ① eitsje [aitʃə, ei..] – akke [akə]

meitsje [māitʃə, mēi..] 「作る」 (meitsje-/makke-, makke-)

ik meitsje [māitʃə, mēi..]

ik makke [mākə]

(do) makkest [mākəst]

(do) makkest [mākəst]

hy makket [mākət]

hy makke [mākə]

hja meitsje [māitʃə, mēi..]

hja makken [mākən]

過去分詞 makke [māke]

類例: smeitsje [smāitʃə, smēi..] 「…の味がする」

② eitsje [aitʃə, ei..] – ekki [ɛkə]

reitsje [ráitʃə, réi..] 「当たる, 至る」 (reitsje-/rekke-, rekke-)

ik reitsje [réitʃə, réi..] ik rekke [rékə]

(do) rekkest [rékəst] (do) rekkest [rékəst]

hy rekkest [rékəst] hy rekke [rékə]

hja reitsje [ráitʃə, réi..] hja rekken [rékən]

過去分詞 rekke [rékə]

類例: weitsje [váitʃə, véi..] (wekje [vékʃə], weitse [váitsə, véi ..])

「目をさましている, 見張る」 (wekje は規則動詞として「目をさまさせる」という意味の他動詞としても用いる)

③ aitsje [aitʃə] – ake [a:kə]

laitsje [láitʃə] 「笑う」 (laitsje-/lake-, lake-)

ik laitsje [láitʃə] ik lake [lá:kə]

(do) lakest [lá:kəst] (do) lakest [lá:kəst]

hy laket [lá:kəst] hy lake [lá:kə]

wy laitsje [láitʃə] wy laken [lá:kən]

過去分詞 lake [lá:ke]

(laaitsje [lá:itʃə] 「同上」もある)

④ oaitsje [o:itʃə] – ôke [ɔ:kə]

loaitsje [lô:itʃə] 「見る」 (loaitsje-/lôke-, lôke-)

ik loaitsje [lô:itʃə] ik lôke [lô:kə]

(do) lôkest [lô:kəst] (do) lôkest [lô:kəst]

hy lôket [lô:kəst] hy lôke [lô:kə]

hja loaitsje [lô:itʃə] hja lôken [lô:kən]

過去分詞 lôke [lô:kə]

類例: koaitsje [kô:itʃə] 「沸騰する・させる」 – kôke [kô:kə] – kôke [kô:kə]

ploaitsje [plô:itʃə] 「摘む」 – plôke [plô:kə] – plôke [plô:kə]

⑤ 「破擦音化」 (§ 18 (5)) と母音の変化

‘tsje [tʃə] – te [tə]’ の交替 ((3)(b)①) と母音の変化を起こす。弱変化も併存する。

plichtsje [plɪxtʃə] 「…する習慣がある」

ik	plichtsje [plɪxtʃə]	ik	placht(e) [pláxt(ə)]
			plichte [plɪxtə]
(do)	plichtest [plɪxtəst]	(do)	placht(e)st [pláx(tə)st]
			plichtest [plɪxtəst]
hy	plichtet [plɪxtət]	hy	placht(e) [pláxt(ə)]
			plichte [plɪxtə]
hja	plichtsje [plɪxtʃə]	hja	plachten [pláxtən]
			plichten [plɪxtən]

過去分詞 なし

(pliigje [plɪ:ɣjə] 「同上」もある)

☞ Tiersma (1985 : 87) は第 1 不定詞 pliigje, 過去形 plichte のみを記している。

(b) {kje [kjə]/pje [pjə]} – ocht [ɔxt]

sykje [sɪkjə] 「探す, 求める」 (sykje-/sike-, socht-)

ik	sykje [sɪkjə]	ik	socht [sɔxt]
(do)	siket [sɪkəst]	(do)	sochtst [sɔxst]
hy	siket [sɪkət]	hy	socht [sɔxt]
hja	sykje [sɪkjə]	hja	sochten [sɔxtən]

過去分詞 socht [sɔxt]

(siikje [sɪ:kjə] 「同上」もある)

類例 : keapje [kɛapjə] 「買う」

「-e 動詞」に属する tinke [tɪŋkə] 「思う, 考える」と bringe [brɪŋə] 「持つてくる・いく」も類似した変化を示す (§ 70 (3)(a))。

(5) 強変化動詞

強変化動詞はすべて不規則動詞である。

waskje [vóskjə] 「洗う」

ik washje [vóskjə]

ik wosk [vosk]

(do) waskest [vóskəst]

(do) woskst [voskst]

hy wasket [vóskət]

hy wosk [vóskən]

hja washje [vóskjə]

hja wosken [vóskən]

過去分詞 wosken [vóskən]

類例: bergje [béryjə] 「かくまう, しまう」, fjochtsje [fjótstə]

(fjucht(sj)e [fjótst(j)ə]) 「戦う」

規則的な弱変化が併存するもの。

befelje [bəféljə] 「命令する」, fergje [féryjə] 「要求する」, flechtsje

[fléxtə] 「編む」(ただし, flechtsje [fléxtə] 「逃げる」は弱変化の規則

動詞), genietsje [gənfətə] 「楽しむ, 享受する」, hingje [hínjə] 「掛け

る, 掛かっている」, lykje [líkjə] 「似ている, …のようだ」, terskje [téskjə]

「脱穀する」, tingje [tínjə] 「値切る」

- ☞ Zantema (1984) も上記の語を挙げている(ただし, geniet(sj)e 「楽しむ, 享受する」)。Fokkema (1967²: 53 ff.) と Tiersma (1985: 79 ff.) はともに hingje 「掛ける, 掛かっている」を強変化のみとし, tingje 「値切る」については前者が弱変化, 後者が強変化と弱変化としている。それ以外の語は記載しておらず, もっぱら弱変化とみなしている。Hoekema (1992: 30 ff.) はこの2語と terskje 「脱穀する」だけを強変化としている。

§ 72 「-n 動詞」

(1) まとめ

「-n 動詞」はすべて不規則な強変化動詞であり, 以下の7つの動詞に限られる。語幹の形成がきわめて不規則であり, 現在形の人称変化も不規則である。第1不定詞と現在形1人称単数が異形のものと同形のものに分かれ, 前者では第3不定詞(命令形不定詞)が現在形1人称単数と同形であり, 後者では3つの不定詞すべてが同形である。ただし, slaan 「打つ」はその両方の性格を示す。第1不定詞と第2不定詞(動名詞)はつねに同形である。

- ☞ 第1不定詞と現在形1人称単数が同形の gean [gIən] 「行く」と stean

[stIən] はかつての語根動詞 (ド. Wurzelverb) に由来する。slaan「打つ」は歴史的に縮約動詞 (ド. kontrahiertes Verb) に属する。

(2) 種類と語形

(a) 第1不定詞と1人称単数現在形が異形

① dwaan [dwa:n] 「する」

ik	doch	[dox]	ik	die	[diə]	
(do)	dochst	[doxst, ..kst]	(do)	diest	[diəst]	
hy	docht	[doxt]	hy	die	[diə]	
hja	dogge	[dɔɣə]	hja	diene(n)	[dɛnə(n)]	
不定詞	dwaan	[dwa:n]	— dwaan	[dwa:n]	— doch	[dox]
過去分詞	dien	[diən]				
現在分詞	dwaand(e)	[dwa:nt, (..də)]				
命令形	doch	[dox]				

過去形複数 -ne(n) については § 70 (4)(b) 参照。

② jaan [ja:n] 「与える」

ik	jou	[jɔu]	ik	joech	[ju:x]	
(do)	joust	[jɔust]	(do)	joechst	[ju:xst, ..kst]	
hy	jout	[jɔut]	hy	joech	[ju:x]	
hja	jouwe	[jɔuə]	hja	joegen	[jɔ:ɣən]	
不定詞	jaan	[ja:n]	— jaan	[ja:n]	— jou	[jɔu]
過去分詞	jûn	[ju(:)n]				
現在分詞	jaand(e)	[ja:nt, (..də)]				
命令形	jou	[jɔu]				

③ sjen [ʃɛn] 「見る」

ik	sjoch	[ʃox]	ik	seach	[sIəx]
(do)	sjochst	[ʃoxst, ..kst]	(do)	seachst	[sIəxst, ..kst]
hy	sjocht	[ʃox]	hy	seach	[sIəx]
hja	sjogge	[ʃɔɣə]	hja	seagen	[sIəɣən]

不定詞 sjen [ʃɛn] — sjen [ʃɛn] — sjoch [ʃox]

過去分詞 sjoen [ʃuən]

現在分詞 sjend(e) [ʃɛnt, (..də)]

命令形 sjoch [ʃox]

④ tsjen [tʃɛn] 「引く (文語的)」 (trekke [trɛkə] が一般的)

ik tsjoch [tʃox] ik teach [tɬɛx]

(do) tsjochst [tʃoxst, ..kst] (do) teachst [tɬɛxst, ..kst]

hy tsjocht [tʃoxɪ] hy teach [tɬɛx]

hja tsjogge [tʃɔɣə] hja teagen [tɬɛɣən]

不定詞 tsjen [tʃɛn] — tsjen [tʃɛn] — tsjoch [tʃox]

過去分詞 tein [tain, tɛin]

現在分詞 tsjend(e) [tʃɛnt, (..də)]

命令形 tsjoch [tʃox]

(b) 第1不定詞と1人称単数現在形が同形

① geane [gɛənə] 「行く」

ik gean [gɛən] ik gong [gɔŋ]

gyng [gɪŋ]

gie [giə]

(do) giest [giɪst, giəst] (do) gongst [gɔŋst]

gyngst [gɪŋst]

giest [giəst]

hy giet [giɪt, giət] hy gong [gɔŋ]

gyng [gɪŋ]

gie [giə]

hja geane [gɛənə] hja gongen [gɔŋən]

gyngen [gɪŋən]

giene(n) [giəne(n)]

不定詞 gean [gɛən] — gean [gɛən] — gean [gɛən]

過去分詞 gongen [gɔŋən], gien [giən]

現在分詞 geand(e) [gIənt, (..də)]

命令形 gean [gIən]

☞ 過去形複数 -ne(n)については§ 70 (4)(b)参照。

② stean [stIən] 「立っている」

ik stean [stIən]

ik stie [stiə]

(do) stiest [stiəst]

(do) stiest [stiəst]

hy stiet [stiət]

hy stie [stiə]

hja steane [stIənə]

hja stiene(n) [stIənə(n)]

不定詞 stean [gIən] — stean [gIən] — stean [gIən]

過去分詞 stien [stiən]

現在分詞 steand(e) [stIənt, (..də)]

命令形 stean [stIən]

☞ 過去形複数 -ne(n)については§ 70 (4)(b)参照。

(c) 第 1 不定詞と 1 人称単数現在形が同形あるいは異形

slaan [sla:n] 「打つ」

ik slaan [sla:n]

ik sloech [slu(:)x]

slach [slax]

(do) slachst [slaxst, ..kst]

(do) sloechst [slu(:)st, ..kst]

hy slacht [slaxt]

hy sloech [slu(:)x]

hja slane [slā:nə]

hja sloegen [slū(:)γən]

slagge [slāγə]

slaan [sla:n]

不定詞 slaan [sla:n] — slaan [sla:n] — slaan [sla:n]

過去分詞 slein [slain, slēin]

現在分詞 slaand(e) [sla:nt, (..də)]

命令形 slaan [slā:n]

☞ 現在形複数について, Zantema(1984 : 912) は上記と同様だが, Fokkema (1967² : 62) と Tiersma (1985 : 83) は slane, Boersma/Van der Woude (1980² : 53) は slane と slagge, Hoekema (1992 : 42) は slane と slaan だ

けをそれぞれ記している。

§ 73 不規則動詞変化表

以下の変化表は、§ 69 (2)で述べたように、Eisma (1989)を基本としつつも、他の文法書や辞書との異同を考慮してまとめたものである。したがって、一部で同書にない動詞も採録してある。原則として Fokkema (1967²), Stienstra (1975²), Zantema (1984), Tiersma (1985), Hoekema (1992) を参照した(それぞれ E, F, S, Z, T, H と略。Fokkema (1967²) と Stienstra (1975²) の語形は現行の正書法に変更)。ただし、記載がない場合(「欠」と記す)、その語形を認めないのか、たんに考慮しなかったのか、厳密には不明である。

人称代名詞の記載がない場合は、「第 1 不定詞」—「現在形 3 人称単数」—「過去形 3 人称単数」—「過去分詞」の順。カッコに入れた第 1 不定詞(異形)の語形変化は示していない。

現在形	過去形	過去分詞
bedjerre [bədjérə] 「腐る, 損傷する」		
bedjert [bədjérə]	bedoar [bədóər]	bedoarn [bədóən]
bedrage [bədrá:γə] 「あざむく」(S欠)		
bedraacht [bədrá:xt]	hy bedreach [bədríəx]	bedragen [bədrá:γən]
	bedroeck [bədrú(:)x]	bedreagen [bədríəγən]
	(H欠)	(TH欠)
	hja bedreagen	(bedroegen
	[bədríəγən]	[bədrú(:)γən] Z)
	bedroegen [bədrú(:)γən]	(H欠)
befelje [bəféljə] 「命令する」(befelle [bəfélə]) (SH欠)		
befellet [bəfélət]	befoel [bəfúəl] (FT欠)	befellen [bəfélən] (FT欠)
	befelle [bəfélə]	befelle [bəfélə]
befinge [bəfíŋə] 「(感情・感覚が) 襲う」(S欠)		

befingt [bəfɪŋt]	befong [bəfɔŋ]	befongen [bəfɔŋən]
	befingde [bəfɪŋdə] (FTH欠)	befingd [bəfɪŋt] (FTH欠)
begjinne [bəgʲɪnə] 「始める, 始まる」 (FT欠)		
begjiint [bəgʲɪnt]	begûn [bəgû(:)n]	begûn [bəgû(:)n]
belide [bəlidə] 「(罪・誤りを) 認める, 信仰告白する」 (FTH欠)		
beliidt [bəli:t]	belied [bəliət]	beliden [bəlidən]
berekke [bərékə] 「(火を) 灰で覆う」 (TS欠)		
berekt [bərékt]	beriek [bəriək]	berutsen [bərútsən]
bergje [béryjə] 「保護する, 収納する」		
berget [béryət]	hy burch [børx]	burgen [børyən]
	hja burgen [børyən]	
beswike [bəswíkə] 「屈服する」 (FTH欠)		
beswykt [bəswíkt]	beswiek [bəswíək]	beswykt [bəswíkt]
	beswykte [bəswíktə]	(besweken [bəswé:kən] S)
bidde [bídə] 「祈る」		
bidt [bít]	hy bea [blə]	bean [blən] (F欠)
	bidde [bídə] (F欠)	bidden [bídən]
	hja beaen [bləən]	
	bidden [bídən] (F欠)	
biede [biədə] 「提供する」		
biedt [biət]	bea [blə]	bean [blən]
bine [bínə] 「巻く」		
bynt [bint]	bûn [bu(:)n]	bûn [bu(:)n]
bite [bítə] 「かむ」		
byt [bit]	biet [biət]	biten [bítən]
blaze [blá:zə] 「吹く」 (FT欠)		
blaast [bla:st]	hy blies [bliəs]	blazen [blá:zən]
	blaasde [blá:zdə] (H欠)	blaasd [bla:st] (H欠)
	hja bliezen [bliézən]	

blaasden [blá:zdən] (H欠)

bliede [blíədə] 「出血する」

ik blied [bliət]	ik blette [blétə]	blet [blət]
(do) bletst [blést]	(do) blettest [blétəst] (H欠)	(blieden [blíədən] F)
bliedst [bliəst] (H欠)	bletst [blést]	(bled [bliət] S)
hy blet [blət]	hy blette [blétə]	
bliedt [bliət] (H欠)	hja bletten [blétən]	
hja bliede [blíədə]	(blette-/bliede- FS)	

blike [blíkə] 「…のようである, 明らかになる」

blykt [blykt]	blik [blyk]	bleken [blé:kən] (FT欠)
	blykte [blyktə] (FTH欠)	blykt [blykt] (H欠)

blinke [blɪŋkə] 「輝く, ぴかぴか光る」

blinkt [blɪŋkt]	blonk [blɔŋk]	blonken [blɔŋkən]
-----------------	---------------	-------------------

bliuwe [bljýwe, bljó:wə] 「とどまる」

bliuwt [bljyut,	hy bleau [bljo:u, bløə]	bleaun [bløən]
bljo:ut]	bliuwde [bljýudə, bljó:udə] (FSH欠)	
	hja bleauwen [bljó:wən]	
	bleaune(n) [bløənə(n)] (H欠)	
	bliuwden [bljýudən, bljó:udən] (FSH欠)	

brekke [brékə] 「割る, 割れる」

brekt [brékt]	briek [briæk]	brutsen [brøtsən]
	bruts [brøts] (H欠)	

briede [bríədə] 「(食物を) 焼く, 卵を抱く」

ik bried [briət]	ik brette [brétə]	bret [brət]
(do) brest [brést]	(do) bretttest [brétəst] (H欠)	(brieden [bríədən] F)
briedst [briəst] (H欠)	brest [brést]	(bried [briət] S)
hy bret [brət]	hy brette [brétə]	
briedt [briət] (H欠)	hja bretten [brétən]	
hja briede [bríədə]	(brette-/briede- FS)	

bringe [brɪŋə] 「持ってくる・いく」

bringt [brɪŋt]

brocht [brɔxt]

brocht [brɔxt]

deie [dáiə, déiə] 「殺す」(T欠)

ik dei [dai, dei]

ik date [dā:tə]

daat [dat]

(do) daatst [da:st]

deide [dāidə, déidə] (H欠)

deid [dait, deit]

deist [daist, deist] (H欠)

(do) daatst [da:st]

(H欠)

hy daat [dat]

deidest [dāidəst, déi..] (H欠)

deit [dait, deit] (H欠)

hy date [dā:tə]

hja deie [dáiə, déiə]

deide [dāidə, déidə] (H欠)

hja daten [dā:tən]

deiden [dāidən, déi..] (H欠)

dekke [dékə] 「覆う」

dekt [dekt]

diek [diək]

dutsen [døtsən]

duts [døts] (SH欠)

dekt [dekt] (FSTH欠)

dekke [dékə] (FSTH欠)

doare [dwāre, dōərə] 「あえて…する」(doarre [dwāre] FTH欠)

doar [dwar, doər]

doarst [dwast, doəst]

doarst [dwast, doəst]

doart [dwat, doət]

doarde [dwādə, dōədə]

doaren [dwārən, dōərən]

(H欠)

(H欠)

(TH欠)

([wa, oə] Z; [wa] FT)

doard [dwat, doət] (FTH欠)

([wa, oə] Z;

doarst [wa] FT)

drage [drá:ɣə] 「運ぶ, (衣服を) 着る」

draacht [dra:xt]

hy droech [dru(:)x]

droegen [drú(:)ɣən]

hja droegen [drú(:)ɣən]

drinke [drɪŋkə] 「飲む」

drinkt [drɪŋkt]

dronk [dronk]

dronken [drɔŋkən]

driuwe [drjýwe, drjó:wə] 「駆りたてる, 漂う」

driuwte [drjyut,

hy dreau [drjo:u, drøə]

dreaun [drøən]

drjo:ut]	driuwde [drjýudə, drjô:udə] (FSH欠)	
	hja dreauwen [drjô:wən]	
	dreaune(n) [drøənə(n)] (H欠)	
	driuwden [drjýudən, drjô:udən] (FSH欠)	
dûke [dúkə] 「潜る」		
dûkt [dukt]	doek [du:k]	dûkt [dukt]
	dûkte [dúktə] (H欠)	
dwaan [dwa:n] 「する」		
ik doch [dox]	hy die [diə]	dien [diən]
(do) dochtst [doxst,	diich [di:x] (FSTH欠)	
..kst]	dyng [dig] (FSTH欠)	
hy docht [doxt]	hja diene(n) [diənə(n)]	
hja dogge [dôγə]		
erve [érvə] 「相続する, 遺伝的に受け継ぐ」 (S欠)		
erft [erft]	hy urf [ørf]	urven [ørvən]
	erfde [érvdə] (H欠)	erfd [erft] (H欠)
	hja urven [ørvən]	
	erfdén [érvdən] (H欠)	
falle [fólə] 「落ちる, 倒れる」		
falt [folt]	foel [fuəl]	fallen [fólən]
fange [fáŋə] 「捕らえる」		
fangt [fapt]	fong [fɔŋ]	fongen [fɔŋən]
		finzen [fé:nzən]
		(F古形, TH欠)
farre [fá:rə] 「船で/が行く・運ぶ」 (fare [fá:rə] T)		
fart [fat]	foer [fuər]	fearn [fǽn]
	fear [flər] (H欠)	
feie [fáiə, féiə] 「掃く」		
ik fei [fai, fei]	fage [fá:γə]	fage [fá:γə]

(do) fagest [fā:γəst]	(feide [fáidə, féidə] F)	(feid [fait, feit] F)
feist [faist, feist] (H欠)		
hy faget [fā:γə]		
feit [fait, feit] (H欠)		
hja feie [fáiə, féiə]		
ferdjerre [fədjérə] 「腐る, 損傷する」 (S欠)		
ferdjert [fədjért]	ferdoar [fədóər]	ferdoarn [fədóən]
ferdwine [fədwínə] 「消える」		
ferdwynt [fədwínt]	ferdwûn [fədwú(:)n]	ferdwûn [fədwú(:)n]
fergie [féryjə] 「要求する」 (FSTH欠)		
ferget [féryət]	hy furch [fórx]	furgen [fóryən]
	ferge [féryə]	ferge [féryə]
	hja furgen [fóryən]	
	fergen [féryən]	
ferjitte [fəjítə] 「忘れる」		
ferjit [fəjít]	fergeat [fəglət]	fergetten [fəgétən]
		ferjitten [fəjítən] (SH欠)
ferlieze [fəliəzə] 「失う」		
ferliest [fəliəst]	ferlear [fəliər]	ferlern [fəlén]
fine [fínə] 「見つける」		
fynt [fínt]	fûn [fu(:)n]	fûn [fu(:)n]
finge [fíŋə] 「発火する」 (Z)		
fíngt [fíŋt]	fong [foŋ]	fíngd [fíŋt]
	fíngde [fíŋdə]	
fjochtsje [fjóxtʃə] 「戦う」 (fjucht(sj)e [fjøxt(s)ə] FSTH欠)		
fjochtet [fóxtət]	focht [foxt]	fochten [fóxtən]
fleane [flíənə] 「飛ぶ」		
ik flean [flíən] (F欠)	hy fleach [flíəx]	flein [flain, flein]
fljoch [fljox]	hja fleagen [flíəγən]	

(do) fljochst [fljoxst, ..kst]

hy fljocht [fljoxst]

hja fleane [flġənə] (F欠)

fljogge [fljɔɣə]

flechtsje [fléxtʃə] 「編む」 (FTH欠)

flechtet [fléxtət]

flocht [floxt]

flochten [flóxtən]

flechthe [fléxtə]

flechthe [fléxtə]

frette [frétə] 「(動物が) 食べる；がつつ食べる」

fret [fret]

friet [friət]

fretten [frétən]

frieze [friəzə] 「氷が張る (非人称動詞)」

it friest [friəst]

it frear [frIər]

ferzen [fézən]

gean [gġənə] 「行く」

ik gean [gġən]

hy gong [gɔŋ]

gongen [gɔŋən]

(do) giest [gġIst, giəst]

gyng [giŋ]

gien [giən]

hy giet [gġIt, giət]

gie [giə] (H欠)

hja geane [gġənə]

hja gongen [gɔŋən]

(gean(e) [gġən(ə)] H)

gyngen [giŋən]

giene(n) [giənə(n)] (H欠)

(gienen [giənən] T)

genêze [gənê:zə] 「(病気などが) 回復する」 (geneze [gənê:zə] T)

genêst [gənê:st]

hy genies [gənías]

genêzen [gənê:zən]

genêзде [gənê:zdə]

genezen [gənê:zən]

(FTH欠)

(SH欠)

geneesde [gənê:zdə] (FSTH欠)

hja geniezen [gəníəzən]

genêsden [gənê:zdə] (FTH欠)

geneesden [gənê:zdə] (FSTH欠)

genietsje [gəníətsjə] 「楽しむ, 享受する」 (おもに弱変化, FTH欠) (geniete [gəníətsjə]

SZ)

西フリジア語の文法構造—動詞 (1)—

genietet [gənɪtət]	geniete [gənɪtə]	geniete [gənɪtə]
	genoat [gənɔt]	genoaten [gənɔtən]
glide [gli(:)də] 「滑る」		
ik glyd [glit]	glied [gliət]	gliden [glɪdən]
gliid [gli:t] (H欠)		
(do) glydst [glist]		
gliidst [gli:st] (H欠)		
hy glydt [glit]		
gliidt [gli:t] (H欠)		
glimme [glɪmə] 「かすかに燃える・光る」		
glimt [glɪmt]	glom [glom]	glommen [glɔmən]
	glimde [glɪmdə] (T欠)	glimd [glɪmt] (T欠)
glûpe [glûpə] 「そつと歩く」		
glûpt [glupt]	gloep [glu:p]	glûpen [glûpən] (TH欠)
	glûpte [glûptə] (H欠)	glûpt [glupt]
grave [grá:və] 「埋める」		
graaft [gra:ft]	hy groef [gru:f]	groeven [grú:vən]
	hja groeven [grú:vən]	
gripe [grípə] 「つかむ」		
grypt [gript]	griep [griəp]	grepen [gré:pən]
	grypte [gríptə] (H欠)	grypt [gript] (H欠)
hâlde [hó:də] 「保つ」		
hâldt [ho:t]	hold [ho:t] (TH欠)	holden [hó:dən] (TH欠)
	hâlde [hó:də] (H欠)	hâlden [hó:dən] (H欠)
	(hood [ho:t] FSTH)	(hoden [hó:dən] STH)
hawwe [há:və] 「もっている；完了の助動詞」		
ik ha(w) [ha(f),	hy hie [hiə]	hân [hɔ:n]
ha(v)]	hja hiene(n) [hiəne(n)]	
(haw H)	(hiene [hiəne] H)	

(do) hast [hast]

hy hat [hat]

wy ha(wwe) [há(və)]

その他: ha(bbe) [há(bə)], he(bbe) [hé(bə)], he(wwe) [hé(və)] (WFT 8 1991: 173)

ik {ha(b) [ha(p)]/he(b) [hɛ(p)]/he(w) [hɛ(f)]}

(do) {hast [hast]/hest [hɛst]}

hy hat [hat]

hja {ha(bbe) [há(bə)]/he(bbe) [hé(bə)]/he(wwe) [hé(və)]}

helpe [hélpə] 「助ける」

helpt [hɛlpt]

help [hɒlp]

holpen [hólpən]

hingje [hÍŋjə] 「掛かっている, 掛ける」

hinget [hÍŋɛt]

hong [hɒŋ]

hongen [hɒŋən]

hinge [hÍŋə] (ㄒ)

hinge [hÍŋə] (ㄒ)

hjitte [jÍtə] 「…という名前である」 (hite [hítə])

hjit [jÍt]

hiet [hiət] (ㄴ)

hiten [hítən] (ㄴ)

hjitte [jÍtə]

hjitten [jítən]

ite [ítə] 「食べる」

yt [ít]

iet [iət]

iten [ítən]

jaan [ja:n] 「与える」

ik jou [jou]

hy joech [ju:x]

jûn [ju(:)n]

(do) joust [joust] ([ju(:)x] ㄒ)

hy jout [jout]

hja joegen [jú:ɣən]

hja jouwe [jouə] ([ju(:)x] ㄒ)

jeie [jáia, jéia] 「狩りをする, 駆りたてる」

ik jei [jai, jei]

jage [já:ɣə]

jage [já:ɣə]

(do) jagest [já:ɣəst] (jeide [jáida, jéida] ㄴ)

(jeist [jaist, jeist] ㄴ)

hy jaget [já:ɣət] (jeit [jait, jeit] ㄴ)

hja jeie [jáia, jéia]		
jilde [jǐlda] 「有効である, …の値段がする」		
jildt [jɪlt]	gou [gɔu]	gouwen [gɔuən]
	jilde [jǐlda] (FH欠)	jilden [jǐldən] (H欠)
jitte [jítə] 「注ぐ」		
jit [jɪt]	geat [gɪət]	getten [gétən]
		(jitten [jítən] FT)
keapje [kǎpjə] 「買う」		
keapet [kǎpət]	kocht [kɔxt] (H欠)	kocht [kɔxt] (H欠)
	koft [kɔft]	koft [kɔft]
	(keape [kǎpə] S)	(keape [kǎpə] S)
kenne [kénə] 「知っている」 (FT欠)		
ken [kɛn]	hy koe [kuə]	kennen [kénən] (H欠)
	hja koene(n) [kúənə(n)]	kend [kɛnt]
	(koene [kúənə] SH)	
kerve [kérvə] 「刻む, 切る」 (S欠) (kervje [kérvjə] SFTH欠)		
kerft [kɛrft]	hy kurf [kørf]	kurven [kørvən]
	(kerfde [kérvdə] FT)	(kerfd [kɛrft] FT)
	hja kurven [kørvən]	
	(kerfdén [kérvdən] FT)	
kieze [kiəzə] 「選ぶ」		
kiest [kiəst]	hy keas [kiəs]	keazen [kiəzən]
	hja keazen [kiəzən]	kiesd [kiəst] (FST欠)
kinne [kínə] 「…できる, …かもしれない」		
ik kin [kɪn]	ik koe [kuə]	kinnen [kínən]
(do) kinst [keːnst]	(do) koest [kuəst]	kind [kɪnt]
hy kin [kɪn]	hy koe [kuə]	
hja kinne [kínə]	hja koene(n) [kúənə(n)]	
	(koene [kúənə] SH)	

kleie [kláia, kléia] 「嘆く, 不平を言う」

ik klei [klai, kléi] klage [klá:γə]

klage [klá:γə]

(do) klagest [klá:γəst] (kleide [kláidə, kléidə] F)

(kleist [klaist, kléist] FT)

hy klaget [klá:γət]

(kleit [kléit, klait] FT)

hja kleie [kléia, kláia]

klimme [klímə] 「登る」

klimt [klímt]

klom [klom]

klommen [klómən]

klinke [klínkə] 「鳴る, 響く」

klinkt [klínkt]

klonk [klɔŋk]

klonken [klónkən]

kliuwe [kljýwə, kljód:wə] 「登る」

kliuwt [kljyut,

hy kleau [kljo:u, kløə]

kleaun [kløən]

kljo:u]

kliuwde [kljýudə, kljód:udə] (FSH)

hja kleauwen [kljód:wən]

kleaune(n) [kløənə(n)] (H)

kliuwden [kljýudən, kljód:udən] (FSH)

knipe [kní(:)pə] 「つねる, つまむ」

knypt [knípt]

kniep [kníep]

knypt [knípt]

knípte [kníptə] (H)

(knepen [kné:pən] F)

koaie [kô:iə] 「噛む」 (TH) (kôgje [kô:γjə] TH, kauje [kôujə] STH)

ik koai [koi]

ik kôge [kô:γə] (Z)

kôge [kô:γə] (Z)

(do) kôgest [kô:γəst] (do) kôgest [kô:γəst]

koaid [koi:t] (F)

(Z)

(Z)

koaist [koi:st] (F)

koaidest [kô:ide] (F)

hy kôget [kô:γəst]

hy kôget [kô:γəst] (Z)

(Z)

koaide [kô:ide] (F)

koait [koi:t] (F)

hja kôgen [kô:γən] (Z)

hja koaie [kô:iə]

koaiden [kô:iden] (F)

koaitsje [kô:itʃə] 「沸騰する・させる」 (kôkje [kô:kjə] SH欠)

ik koaitsje [kô:itʃə] kôke [kô:kə] kôke [kô:kə]

(do) kôkest [kô:kəst]

hy kôket [kô:kət]

hja koaitsje [kô:itʃə]

komme [kômə] 「来る」

komt [komt] kaam [ka:m] kommen [kômə]

komd [komt] (H欠)

kaam [kâ:m] (FSTH欠)

krije [kréiə] 「得る」

ik krij [krei] hy krige [krí(:)γə] krige [krí(:)γə]

(do) krigest [krí(:)γəst] kriich [kri:x] (FSTH欠) krigen [krí(:)γən] (H欠)

krijst [kreist] (H欠) krych [krix] (SZH欠)

hy kriget [krí(:)γət] hja krigen [krí(:)γən]

krijt [kreit] (H欠)

hja krije [kréiə]

krimpe [krîmpə] 「縮む」

krimpt [krîmpt] kromp [kromp] krompen [krômpən]

kringe [krîŋə] 「突き進む, 押しのける」

kringt [krîŋt] krong [kron] krongen [krôŋən]

krinke [krîŋkə] 「(人の) 気持ちを傷つける」

krinkt [krîŋkt] kronk [kronk] kronken [krôŋkən]

krite [krítə] 「嘆き悲しむ」

kryt [krit] kriet [kriət] kriter [krítən]

krûpe [krúpə] 「はう」 (FT欠)

krûpt [krupt] kroep [kru:p] krûpen [krúpən] (H欠)

krûpte [krúpte] (H欠) krûpt [krupt]

kwine [kwíne] 「やつれる, しおれる」 (おもに弱変化, FSTH欠)

kwynt [kwint] kwynde [kwínde] kwynd [kwint]

	kwûn [kwun]	kwûn [kwun]
laitsje [lâitʃə] 「笑う」 (laaitsje [lâ:itʃə] FSTH 欠)		
ik laitsje [lâitʃə]	lake [lâ:kə]	lake [lâ:kə]
(do) lakest [lâ:kəst]		
hy laket [lâ:kət]		
hja laitsje [lâitʃə]		
lêze [lê:zə] 「読む」		
lêst [lê:st]	hy lies [liəs]	lêzen [lê:zən]
	hja liezen [lîəzən]	
liede [lîədə] 「導く」		
ik lied [liət]	(do) latest [lâ:təst]	laat [la:t]
(do) laatst [la:st]	(laatst [la:st] H)	(lieden [lîədən] F)
liedst [liəst] (H 欠)	(liedest [lîədəst] FST)	
hy laat [la:t]	hy late [lâ:tə]	
liedt [liət] (H 欠)	(liede [lîədə] FST)	
hja liede [lîədə]		
liede [lîədə] 「(教会の鐘などが) 鳴る」		
ik lied [liət]	(do) lettest [létəst] (H 欠)	let [lét]
(do) letst [létst]	(letst [létst] H)	(lieden [lîədən] F)
liedst [liəst] (H 欠)	hy lette [létə]	
hy let [lét]		
liedt [liət] (H 欠)		
hja liede [lîədə]		
lige [lî:ɣə] 「嘘をつく」 (おもに弱変化, TH 欠)		
liicht [li:xt]	hy liigde [lî:ɣdə]	liigd [li:xt]
	leach [lîəx]	lygd [lixt] (F 欠)
	hja liigde [lî:ɣdə]	leagen [lîəɣən]
	leagen [lîəɣən]	(leagene [lîəɣənə] S)
lije [lêiə] 「苦しむ, 被る」		

西フリジア語の文法構造—動詞 (1)—

ik lij [lei]	(do) littest [lɪtəst] (H欠)	lit [lɪt]
(do) litst [lɪst] (F欠)	(litst [lɪst] H)	lijd [leit] (H欠)
lijst [leist] (H欠)	lijdest [lɛidəst] (H欠)	
hy lit [lɪt]	hy litte [lɪtə]	
lijt [leit] (H欠)	lijde [lɛidə] (H欠)	
hja lije [lɛiə]		
lykje [lɪkjə] 「似ている, …のようだ」 (FTH欠)	(likenje [lɪkə ⁿ jə] FSTH欠)	
liket [lɪkət]	liek [liək]	like [lɪkə]
	like [lɪkə]	
litte [lɪtə] 「…させる, 放置する」		
lit [lɪt]	liet [liət]	litten [lɪtən]
lizze [lɪzə, lɛ:zə] 「横たわっている, 横たえる」		
ik lis [lɪs, le:s]	hy lei [lai, lei]	lein [lain, lein]
(do) leist [laist, leist]	hja leine(n) [lɛinə(n),	lei [lai, lei] (FTH欠)
hy leit [lait, leit]	lɛi..]	leid [lait, leit] (FTH欠)
hja lizze [lɪzə, lɛ:zə]	(leine [lɛinə, lɛi..] SH)	
loaitsje [lɔ:itʃə] 「見る」 (FST欠)		
ik loaitsje [lɔ:itʃə]	lōke [lɔ:kə]	lōke [lɔ:kə]
(do) lōkest [lɔ:kəst]		
hy lōket [lɔ:kət]		
hja loaitsje [lɔ:itʃə]		
lōke [lɔ:kə] 「弓く」		
lōkt [lukt]	loek [lu:k]	lutsen [lɔtsən]
	luts [lɔts] (H欠)	
meie [mɛiə, mɛiə] 「…するのが好きだ, …してもいい」		
mei [mai, mei]	mocht [moxt]	mocht [moxt]
		meien [mɛiən, mɛi..]
meitsje [mɛitʃə, mɛi..] 「作る」		
ik meitsje [mɛitʃə, makke [mɛkə]	makke [mɛkə]	

méi..]

(do) makkest [mākəst]

hy makket [mākət]

hja meitsje [máitʃə, méi..]

melke [mélkə] 「乳を搾る」 (meltse [méltsə] STH欠)

melkt [mélkt]

molk [molk]

molken [mólkən]

merke [mérkə] 「印をつける, 気づく」

merkt [mərkt]

murk [mørk]

murken [mørkən]

minge [mÍŋə] 「混ぜる」

mingt [mÍŋt]

mong [moŋ]

mongen [móŋən]

mjitte [mjítə] 「測る」

mjit [mjít]

meat [mIət]

metten [métən]

moatte [m(w)átə] 「…しなければならない, …にちがいない」

moat [m(w)at]

moast [mwast]

moatten [mwátən]

moete [múətə] 「会う」 (おもに規則変化, T欠) (moetsje [múətʃə] H欠) (mette [métə]

FZ)

ik moet [muət]

(do) mettest [métəst] (H欠)

moet [muət] (H欠)

(do) moetst [muəst] (H欠)

(metst [mæst] H)

met [mæt]

metst [mæst]

moetest [múəstəst] (SH欠) (moet(e) [múət(ə)] F)

hy moet [muət] (H欠) hy moete [múətə] (H欠)

met [mæt]

mette [métə]

hja moete [múətə]

nimme [nÍmə] 「取る」

nimt [nÍmt]

naam [na:m]

nommen [nómən]

(nôm [nɔ:m] F)

naam [na:m] (FTH欠)

nomd [nomt] (H欠)

piuwe [pjýwe, pjó:wə] 「いやいや食べる」 (FST欠)

piuwt [pjyut, pjó:ut] hy peau [pjo:u, pðə]

peaun [pðən]

piuwde [pjýudə, pjó:udə] (H欠)

- hja peauwen [pjô:wən]
 peaune(n) [pøənə(n)] (H欠)
 piuwden [pjýudən, pjô:udən] (H欠)
 plichtsje [plíxtʃə] 「…する習慣がある」 (FSTH欠) (pliigje [plí:ɣjə])
 plichtet [plíxtət] placht(e) [pláxt(ə)] なし
 plichte [plíxtə]
 ploaitsje [plô:itʃə] 「摘む」 (plôkje [plô:kjə]) (ploaitse [plô:itsə] Z)
 ik ploaitsje [plô:itʃə] plôke [plô:kə] plôke [plô:kə]
 (do) plôkest [plô:kəst] ploaite [plô:itə] (H欠) ploaite [plô:itə] (H欠)
 ploaitest [plô:itəst] (H欠)
 hy plôket [plô:kət]
 ploaitet [plô:itət] (H欠)
 hjá ploaitsje [plô:itʃə]
 priuwe [prjýwe, prjô:wə] 「(…の) 味がする, 味わう」 (S欠)
 priuwt [prjyut, hy preau [prjo:u, prøə] preaun [prøən]
 prioude [prjýudə, prjô:udə] (FH欠)
 hjá preauwen [prjô:wən]
 preaune(n) [prøənə(n)] (H欠)
 priuwden [prjýudən, prjô:udən] (FH欠)
 rêde [ré:də] 「救う, 世話をする」
 ik rêd [rɛ:t] rette [ré:tə] (H欠) ret [rɛt] (H欠)
 (do) rêdst [rɛ:st] (rêde [ré:də] FSTZH) (rêden [ré:dən] FSTZH)
 (retst [rɛst] FT)
 hy rêdt [rɛ:t] (ret [rɛt] FT)
 hjá rêde [ré:də]
 reitsje [ráitʃə, réi..] 「…に当たる, 至る」
 ik reitsje [ráitʃə, rekke [ré:kə] rekke [ré:kə]
 réi..]
 (do) rekkest [ré:kəst]

hy rekket [rékæt]

hja reitsje [ráitʃə, réi..]

rekke [rékə] 「伸びる, 伸ばす」

rekt [rækt]

riek [riæk]

rutsen [røtsən]

ruts [røts] (H欠)

ride [rí(:)də] 「(車・自転車・馬などに乗って) 行く」(S欠)

rydt [rit]

ried [riæt]

riden [rí(:)dən]

riede [ríədə] 「助言する」

ik ried [riæt]

(do) rettest [rétæst] (H欠)

ret [ræt]

(do) retst [ræst]

(retst [ræst] H)

(rieden [ríədən] F)

(riedst [riæst] FST)

(riedest [ríədæst] F)

hy ret [ræt]

hy rette [rétə]

(riedt [riæt] FST)

(riede [ríədə] F)

hja riede [ríədə]

riere [ríərə] 「(身体部分などを) 動かす, (液体の中を) かきまぜる」(S欠)

ik rier [riər]

(do) rettest [rétæst] (H欠)

ret [ræt]

(do) retst [ræst] (FTZ欠)

(retst [ræst] H)

rierd [riæt] (H欠)

rierst [riæst] (H欠)

rierdest [ríədæst] (H欠)

hy riert [riæt] (H欠)

hy rette [rétə]

ret [ræt] (FTZ欠)

rierde [ríədə] (H欠)

hja riere [ríərə]

rinne [rínə] 「歩く, 動く, 流れる」

rint [rint]

rûn [ru(:)n]

rûn [ru(:)n]

rite [ritə] 「裂く, 裂ける」(FT欠)

ryt [rit]

riet [riæt]

riten [ritən]

riuwe [rjýwe, rjó:wə] 「連ねる, (真珠などを) ひもなどに通す」

riuwt [rjyut, rjo:ut]

hy reau [rjo:u, røə]

reaun [røən]

riuwde [rjýudə, rjó:udə] (FSH欠)

hja reauwen [rjó:wən]

reaune(n) [røəne(n)] (H欠)

riuwden [rjýudən, rjô:udən] (FSH欠)

roppe [röpə] 「叫ぶ, 呼ぶ」

ropt [ropt]

röp [rø:p]

roppen [röpən]

rûke [rûkə] 「(…の) においがする, 嗅ぐ」

rûkt [rukt]

roek [ru:k]

rûkt [rukt]

rûkte [rûktə] (H欠)

siede [sîdə] 「沸騰する・させる」

siedt [siət]

hy sea [sîə]

sean [sîən]

(sear [sîər] T)

hja seaen [sîəən]

sykje [sîkjə] 「探す」 (siikje [sî:kjə] STH欠)

siket [sîkət]

socht [sɔxt]

socht [sɔxt]

(sike [sîkə] S)

(sike [sîkə] S)

sille [sîlə] 「…だろう (など)」

ik sil [sîl]

ik soe [suə]

sillen [sîlən]

(do) silst [sîst]

(do) soest [suəst]

sild [sîlt]

(si(l)st F)

hy soe [suə]

hy sil [sîl]

hja soene(n) [sûəne(n)]

hja sille [sîlə]

(soene [sûəne] SH)

sinke [sîŋkə] 「沈む」

sinkt [sîŋkt]

sonk [soŋk]

sonken [sɔŋkən]

sitte [sîtə] 「すわっている」

sit [sît]

siet [siət]

sitten [sîtən]

sizze [sîzə, sê:zə] 「言う」

ik sis [sîs]

hy sei [sai, sei]

sein [sain, sein]

(do) seist[sai, seist]

hja seine(n) [sáine(n),

sei [sai, sei] (FTH欠)

hy seit [sait, seit]

séi..]

seid [sait, seit] (FTH欠)

hja sizze[sîzə, sê:zə]

(seine [sáine, séi..] SH)

sjen [ʃen] 「見る」

ik sjoch [ʃox]

hy seach [sɪəx]

sjoen [ʃuən]

(do) sjochst [ʃoxst,

hja seagen [sɪəʒən]

..kst]

hy sjocht [ʃoxt]

hja sjogge [ʃɔʒə]

sjitte [ʃɪtə] 「撃つ」

sjit [ʃɪt]

skeat [skɪət]

sketten [skɛtən]

sjonge [ʃɔŋə] 「歌う」

sjongt [ʃɔŋt]

song [sɔŋ]

songen [sɔŋən]

skelde [skɛldə] 「ののしる」(S欠) (skelle [skɛlə] H欠)

skeldt [skɛlt]

skold [skolt]

skolden [skɔldən]

skelde [skɛldə] (H欠)

skeld [skɛlt] (H欠)

skeppe [skɛpə] 「創造する」

skept [skɛpt]

skoop [sku:p]

skepen [skɛ:pən]

skiede [skɪədə] 「分ける, 離婚させる」

ik skied [skiət]

(do) skatest [ska:təst] (H欠)

skaat [ska:t]

(do) skiedst [skɪəst] (H欠)

(skaatst [ska:st] H)

skieden [skɪədən] (SH欠)

skaatst [ska:st] (TZ欠)

skiedest [skɪədəst] (SH欠)

hy skiedt [skiət] (H欠) hy skate [skā:tə]

skaat [ska:t] (TZ欠)

skiede [skɪədə] (SH欠)

hja skiede [skɪədə]

skinke [skɪŋkə] 「注ぐ, 贈る」

skinkt [skɪŋkt]

skonk [skoŋk]

skonken [skoŋkən]

skite [skɪtə] 「糞をする」

skyt [skɪt]

skiet [skiət]

skiten [skɪtən]

skoppe [skɔpə] 「蹴る」(FT欠)

skopt [skopt]

skōp [sko:p]

skopt [skopt]

skopte [skɔptə] (H欠)

skowe [skó:wə] 「押して動かす」 (FTH)

ik sko [sko:u]	ik skode [skó:də] (H欠)	skood [sko:t]
(do) skoost [sko:st]	skau [skəu]	skaun [skəun] (FT欠)
hy skoot [sko:t]	hja skoden [skó:dən] (H欠)	
hja skowe [skó:wə]	skauwen [skó:uən]	

skrikke [skrÍkə] 「驚く, こわがる」

skrikt [skrÍkt]	skrok [skrok]	skrokken [skrókən]
	(skrikte [skrÍktə] FSH)	(skrikt [skrÍkt] FSH)

skriuwe [skrjýwe, skrjó:wə] 「書く」

skriuwt [skrjyt,	hy skreau [skrjo:u,	skreaun [skrøən]
skjo:ut]	skrøə]	
	skriuwde [skrjýudə, skrjó:udə] (FSH欠)	
	hja skreauwen [skrjó:wən]	
	skreaune(n) [skrøənə(n)] (H欠)	
	skriuwden [skrjýudən, skrjó:udən] (FSH欠)	

slaan [slá:n] 「打つ」

ik slaan [slá:n] (F欠)	hy sloech [slu(:)x]	slein [slain, slein]
slach [slax] (H欠)	hja sloegen [slú(:)yən]	
(do) slachst [slaxst, ..kst]		
hy slacht [slaxt]		
hja slane [slá:nə]		
slagge [sláγə] (FTH欠)		
slaan [sla:n] (FST欠)		

sliepe [slíəpə] 「眠る」

ik sliep [slíəp]	slepte [sléptə]	slept [slept]
(do) slepst [slepst]	slepte [sljÍptə] (H欠)	slept [sljIpt] (H欠)
slepst [sljIpst] (H欠)		sliepen [slíəpən] (TH欠)
hy slept [slept]		
sliept [sljIpt] (H欠)		

hja sliepe [sliepə]

slinke [slɪŋkə] 「(腫れなどが) ひく, (痛みなどが) おさまる」(S欠)

slinkt [slɪŋkt]

slonk [slɒŋk]

slonken [slɒŋkən]

slite [slɪtə] 「すり切れる」

slyt [slɪt]

sliet [slɪət]

sliten [slɪtən]

slûpe [slûpə] 「そっと歩く, するりと抜け落ちる」

slûpt [sluɪpt]

sloep [slu:p]

slûpen [slûpən] (H欠)

slûpte [slûptə] (H欠)

slûpt [sluɪpt]

slute [slýtə] 「閉める, 終える; 閉まる, 終わる」

slút [slyt]

sleat [slɪət]

sletten [slétən]

sluet [slyət] (H欠)

sluten [slýtən] (H欠)

(slute [slýtə] S)

smeitsje [smáitʃə, sméi..] 「(…の) 味がする, (人生などを) 楽しむ」(smeitse

[smáitsə, sméi..] Z)

ik smeitsje

smakke [smákə]

smakke [smákə]

[smáitʃə, sméi..]

(do) smakkest [smákəst]

hy smakket [smákəst]

hja smeitsje [smáitʃə, sméi..]

smelte [sméltə] 「溶ける, 溶かす」(smeltsje [sméltʃə]) (S欠)

smelt [smélt]

smolt [smolt]

smolten [smóltən]

smite [smítə] 「投げつける」

smyt [smit]

smiet [smiət]

smiten [smítən]

snije [snéiə] 「切る」

snijt [snéit]

hy snie [snɪə]

snien [snɪən]

snijde [snéidə] (H欠)

snijd [snéit] (H欠)

(snei [snai, snei] FS)

(snein [snain, snein] FS)

hja sniene [sníənə]

snijden [snéidən] (H欠)

(sneine [snáine, snéi..] F)

snute [snýtə] 「(鼻を) かむ, (ろうそくの) 燃えた芯を切り取る」

snút [snyt]

snuet [snyət]

snuten [snýtən]

snute [snýtə]

spije [spéiə] 「唾を吐く, 吐く」 (spuie [spóeyə] おもに弱変化, FSTH欠)

spijt [speit]

hy spei [spai, spei]

spein [spain, spein]

spijde [spéide] (H欠)

spijd [speit] (H欠)

hja speine [spáine, spéine]

spijden [spéiden] (H欠)

spinne [spínə] 「(糸を) 紡ぐ」 (S欠)

spint [spInt]

spûn [spu(:)n]

spûn [spu(:)n]

spinde [spínde] (FT欠)

spind [spInt] (FT欠)

spite [spftə] 「(…に) 残念に思える」

spit [spit]

spiet [spiət]

spiten [spftən]

splitte [splítə] 「(薪などを) 割る, 分割する; 割れる」

splyt [split]

spliet [spliət]

spliten [splftən]

sprekke [sprékə] 「公言する」

sprekt [sprəkt]

spriek [spriək]

sprutsen [sprøtsən]

spruts [sprøts]

spriede [spríedə] 「広げる」 (S欠)

ik spried [spriət]

hy sprate [sprá:tə]

spraak [sprat]

(do) spraast [sprast]

(spriede [spríedə] FT)

(sprieden [spríedən] T)

spriedst [spriəst]

hja spraten [sprá:tən]

(F稀; TH欠)

(sprieden [spríedən] FT)

hy spraast [sprast]

spriedt [spriət] (F稀; TH欠)

hja spriede [spríedə]

springe [spríŋə] 「跳ぶ, はねる, 破裂する」

springt [spríŋt]

sprong [sprog]

sprongen [spróŋən]

sprute [sprýtə] 「発芽する」(SZH)

sprút [spryt] sprute [sprýtə] spruten [sprýtən]

stappe [stápə] 「踏む, 歩む」(おもに弱変化)

stapt [stapt] stapte [stáptə] (H欠) stapt [stapt]
stoep [stu:p]

stean [stIən] 「立っている」

ik stean [stIən] hy stie [stiə] stien [stiən]

(do) stiest [stiəst] hja stiene(n) [stIənə(n)]

hy stiet [stiət] (stiene [stIənə] SH)

hja steane [stIənə]

(stean(e) [stIən(ə)] H)

stekke [stékə] 「突き刺す, 痛む, 差し込む」

stek [stəkt] stiek [stiək] stutsen [støtsən]
stuts [støts] (H欠)

stelle [stélə] 「盗む」

stelt [stəlt] stiel [stiəl] stellen [stélən]

stjerre [stjérə] 「死ぬ」

stjert [stjet] stoar [stoər] stoarn [stoən]

stjitte [stjítə] 「突く, ぶつける」(おもに弱変化)

ik stjit [stjIt] (do) stjittest [stjítəst] (H欠) stjitten [stjítən] (H欠)

(do) stjittst [stjItst] (H欠) statest [stá:təst] (H欠) staat [sta:t]

staatst [sta:st] (F稀: TZ欠) (staatst [sta:st] H)

hy stjit [stjIt] (H欠) hy stjitte [stjítə] (H欠)

staat [sta:t] (F稀: TZ欠) state [stá:tə]

hja stjitte [stjítə]

stjonke [stjónkə] 「悪臭がする」

stjonkt [stjónkt] stonk [stɒnk] stonken [stónkən]

stowe [stó:wə] 「突進する, (ほこりなどが) 飛び散る」(S欠)

ik sto [storu] hy stau [stəu] stowen [stó:wən] (H欠)

(do) stoost [sto:st]	stode [stó:də] (H欠)	stood [sto:t]
hy stoot [sto:t]	hja stauwen [stóuən]	
hja stowe [stó:wə]	stoden [stó:dən] (H欠)	
strekke [strékə] 「のばす, 十分である」 (T欠)		
strekt [strekt]	striek [striæk]	strutsen [strøtsən]
	strekte [stréktə] (FH欠)	strekt [strækt] (SH欠)
	(struts [strøts] S)	
stride [strí:də] 「争う, 口論する」		
striid [strit]	stried [striæt]	striden [strí:dən]
strike [striké] 「なでる, アイロンをかける」		
strykt [strikt]	striek [striæk]	strutsen [strøtsən]
	struts [strøts] (H欠)	
strûpe [strûpə] 「むく, (…の) 皮をはぐ」 (S欠)		
strûpt [strupt]	stroep [stru:p]	strûpt [strupt]
	strûpte [strúptə] (H欠)	
sûpe [súpə] 「がぶ飲みする, 大酒を飲む」 (FH)		
sûpt [supt]	soep [su:p] (FT)	sûpt [supt] (FT)
	sûpte [súptə] (FT)	sopen [sô:pən] (H)
	soop [so:p] (H)	
swerve [swérvə] 「さまよる, 放浪する」 (S欠)		
swerft [swerft]	hy swurf [swørf]	swurven [swørvən]
	hja swurven [swørvən]	
swije [swéiə] 「黙っている」		
swijt [swéit]	swei [swai, swéi]	swein [swain, swein]
(swiget [swí(:)γət] F)	swijde [swéidə] (H欠)	swijd [swéit] (H欠)
	(swige [swí(:)γə] F)	(swige [swí(:)γə] F)
swimme [swímə] 「泳ぐ」 (S欠) (swemme [swémə] SH欠)		
swimt [swImt]	swom [swom]	swommen [swómən]
swine [swíne] 「消える」 (FST欠)		

swynt [swint]	swûn [swu(:)n]	swûn [swu(:)n]
swinge [swɪŋə] 「振る, 揺らす; 揺れる」 (swingje [swɪŋjə] FSTH欠)		
swingt [swɪŋt]	swong [swɔŋ]	swongen [swɔŋən]
swinke [swɪŋkə] 「向きを変える」 (FT欠)		
swinkt [swɪŋkt]	swonk [swɔŋk]	swonken [swɔŋkən]
	swinkte [swɪŋkə] (H欠)	swinkt [swɪŋkt] (H欠)
terskje [tɛskjə] 「脱穀する」 (FST欠)		
tersket [tɛskət]	(do) turskest [tʊskəst]	tursken [tʊskən]
	(teskest [tɛskəst] S)	(terske [tɛskə] S)
	hy tursk [tʊsk]	
	(terske [tɛskə] S)	
tingje [tɪŋjə] 「値切る」 (S欠)		
tinget [tɪŋət]	tong [toŋ]	tongen [tɔŋən]
	tinge [tɪŋə] (TH欠)	tinge [tɪŋə] (TH欠)
tinke [tɪŋkə] 「思う, 考える」 (T欠)		
tinkt [tɪŋkt]	tocht [toxt]	tocht [toxt]
	tochte [tɔxtə] (FSH欠)	
treffe [trɛfə] 「会う, 当たる, 該当する」		
treft [trɛft]	trof [trof]	troffen [trɔfən]
trekke [trɛkə] 「引っぱる, (鳥などが) 渡る」		
trekt [trekt]	triek [triək]	trutsen [trʊtsən]
	truts [trʊts] (FH欠)	
triuwe [trɪjwə, trɪɔ:wə] 「押す」		
triuwt [trɪjut,	hy treau [trɔ:u, trɔə]	treau [trɔən]
trɔ:ut]	triuwde [trɪjʊdə, trɪɔ:udə] (FSH欠)	
	hja treauwen [trɪɔ:wən]	
	treau(n) [trɔənə(n)] (H欠)	
	triuwden [trɪjʊdən, trɪɔ:udən] (FSH欠)	
tsjen [tʃən] 「引く (文語的)」 (trekke [trɛkə] が一般的)		

ik tsjoch [tʃox]	hy teach [tɬæx]	tein [tain, tɛin]
(do) tsjochst [tʃoxst,	hja teagen [tɬəɣən]	
..kst]		
hy tsjocht [tʃoxɪ]		
hja tsjogge [tʃɔɣə]		
twinge [twɪŋə] 「強制する」		
twingt [twɪŋt]	twong [twɔŋ]	twongen [twɔŋən]
ûntginne [untɣɪnə] 「開墾する, 干拓する」 (ST欠)		
ûntgint [untɣɪnt]	ûntgûn [untɣú(:)n]	ûntgûn [untɣú(:)n]
	ûntginde [untɣɪndə] (FH欠)	ûntgind [untɣɪnt] (FH欠)
waakse [vā:ksə] 「成長する, 増大する」 (waaksje [vā:kjə] SH欠, waachs(j)e [vā:kjə, (..ksə)] FSTH欠)		
waakst [va:kst]	woeks [vu(:)ks]	woeksen [vú(:)ksən]
waskje [vɔskjə] 「洗う」 (S欠)		
wasket [vɔskət]	wosk [vosk]	wosken [vɔskən]
weage [vɪəɣə] 「(…の) 重さ・重要性を量る (がある)」 (S欠) (wage [vā:ɣə] FSTH欠, weagje [vɪəɣjə] FSTH欠)		
weaget [vɪəɣət]	hy woech [vu:x]	woegen [vú:ɣən]
	hja woegen [vú:ɣən]	
weitsje [vāitʃə, véi..] 「目を覚ましてゐる, 見張る」 (wekje [vékjə] SH欠, weitse [vāitsə, véi..] SFTH欠)		
ik weitsje	wekke [vékə]	wekke [vékə]
[vāitʃə, véi..]		
(do) wekkest [vékəst]		
hy wekket [vékət]		
hja weitsje [vāitʃə, véi..]		
wenne [vénə] 「慣らす, 慣れる」 (おもに弱変化) (FSTH欠)		
went [vɛnt]	wende [véndə]	wend [vɛnt]
	wûn [vun]	wûn [vun]

werpe [vérpə] 「投げる」(S欠)

werpt [véɾpt]

wurp [vøɾp]

wurpen [vøɾpən]

wêze [vé:zə] 「…である, …がある・いる」

ik bin [bɪn]

ik wie [viə]

west [vɛst]

(do) bist [bɪst]

(do) wiest [viəst]

hy is [ɪs]

hy wie [viə]

hja binne [bɪnə]

hja wiene(n) [viənə(n)]

(wiene [viənə] SH)

wike [vɪkə] 「退く」(FTH欠) (wykje [vɪkjə] FSTH欠)

wykt [vikt]

wiek [viək]

wykt [vikt]

wykte [vɪktə]

(weken [vé:kən] S)

wine [vɪnə] 「巻く」

wynt [vɪnt]

wûn [vun]

wûn [vun]

winke [vɪŋkə] 「(身振りや道具などで…に) 合図する」

winkt [vɪŋkt]

wonk [vɔŋk]

wonken [vɔŋkən]

winne [vɪnə] 「勝つ, 獲得する」

wint [vɪnt]

wûn [vu(:)n]

wûn [vu(:)n]

wite [vɪtə] 「(…を…の) せいにする」

wyt [vit]

wiet [viət]

witen [vɪtən]

witte [vɪtə] 「知っている」(wite [vɪtə] FSH欠)

(do) witst [vɪst]

wit [vɪt]

hy wist [vɪst]

witten [vɪtən]

wiuwe [wjýwə, wjô:wə] 「(合図のために手やハンカチなどを) 振る」(weauwe [vjô:wə] FSTH欠)

wiuwt [vjyut, vjo:ut]

hy weau [vjo:u, vøə]

weaun [vøən] (FT欠)

wiuwde [vjýudə,

wiuwd [vjyut, vjo:ut] (H欠)

vjô:udə] (FH欠)

hja weauwen [vjô:wən]

weaune(n) [vøənə(n)] (H欠)

wiuwden [vjýudən, vjô:udən] (FH欠)

wolle [vólə] 「…したい」

ik wol [vol] hy woe [vuə] wollen [vólən]

(do) wolst [vost] hja woene(n) [vúəne(n)] wold [volt]

(wo(l)st F) (woene [vúəne] SH)

hy wol [vol]

hja wolle [vólə]

wreke [vré:kə] 「復讐する」 (FST欠) (wreekje [vré:kjə]/wrekje [vrékjə]/wrekke [vrékə] FSTH欠)

wreekt [vre:kt] wriek [vriək] wrutsen [vrøtsən]

wreekte [vré:ktə] (H欠) wreekt [vre:kt] (H欠)

wringe [vríŋə] 「ねじる, (洗濯物などを) しぼる」

wringt [vríŋt] wrong [vroŋ] wrongen [vróŋən]

write [vrítə] 「引き裂く, すり傷を負う」 (FST欠)

wryt [vrit] wriet [vriət] writen [vrítən]

wriuwe [wrijwə, wrjô:wə] 「こする, 磨く」

wriuwte [wrijyut, hy wreau [vrjo:u, vrøə] wreaun [vrøən]

vrjo:ut] wriuwde [wrijýudə, vjô:udə] (FSH欠)

hja wreauwen [vrjô:wən]

wreaune(n) [vrøəne(n)] (H欠)

wriuwden [wrijýudən, vjô:udən] (FSH欠)

wurde [vødə] 「…になる, 受動の助動詞」

(do) wurdte [vøst] waard [va:t] wurden [vødən]

hy wurdt [vøt] (wurde [vødə] F) woarn [(v)wan]

(FSTH欠)

参考文献

(前回までに掲載したものを除く)

Breuker, Pieter. 1989, 90. "Taalideology, taalnoarm en taalsimplisme I, II."

- Us Wurk* 38, 39. 65-94, 105-143.
- Eisma, Dick. 1989. *Tiidwurden*. Ljouwert. AFUK.
- Hoekstra, Jarich. 1989. "Ta Gysbert Japicx *kryet, krie't* (3 sg. praes. fan *krite*)". *Us Wurk* 38. 127-134.
- Hoekstra, Jarich. 1997. *The syntax of infinitives in Frisian*. Ljouwert/ Leeuwarden. Fryske Akademy.
- Meijering, H. D. 1980. "d(e)-deletion in the past tense of the class II weak verb in Old Frisian". Yn: D. J. van Alkemade e. a. *Linguistic studies offered to Berthe Siertsema*. Amsterdam. Rodopi. 277-286.
- Spenter, Arne. 1968. *Der Vokalismus der akzentuierten Silben in der Schiermonnikoger Mundart*. Kopenhagen. Munksgaard.
- Stienstra, J. 1975² (1971¹). *Dat lestige tiidwurd. Helpboekje by it taelboek foar begjanners*. Ljouwert. AFUK.
- Werner, Otmar. 1993. "Schwache Verben ohne Dental-Suffix im Friesischen, Färöischen und im Nynorsk". Yn: J. Schmidt-Radefeldt & A. Harder (Hrsg.). *Sprachwandel und Sprachgeschichte. Festschrift für Helmut Lüdtke zum 65. Geburtstag*. Tübingen. Narr. 221-237.

* 本稿は筆者の以下の論文に続く西フリジア語の文法構造の記述である。

- 「西フリジア語の音韻と正書法 (1)」(北海道大学文学部紀要 44-1. 第 85 号. 1995. 37-81)
- 「西フリジア語の音韻と正書法 (2)」(北海道大学文学部紀要 44-2. 第 86 号. 1995. 43-111)
- 「西フリジア語の文法構造—冠詞, 名詞, 形容詞—」(北海道大学文学部紀要 45-1. 第 88 号. 1996. 21-81)
- 「西フリジア語の文法構造—代名詞—」(北海道大学文学部紀要 45-2. 第 89 号. 1996. 79-176)
- 「西フリジア語の文法構造—数詞, 副詞, der—」(北海道大学文学部紀要 45-3. 第 90 号. 1997. 171-246)
- 「西フリジア語の文法構造—前置詞と後置詞 (1)—」(北海道大学文学部紀要 46-1. 第 91 号. 1997. 23-62)
- 「西フリジア語の文法構造—前置詞と後置詞 (2)—」(北海道大学文学部紀要 46-2. 第 92 号. 1998. 41-64)
- 「西フリジア語の文法構造—接続詞—」(北海道大学文学部紀要 46-3. 第 93 号. 1998. 65-121)
- 記述上の問題点については筆者の次の論文を参照。
- 「西フリジア語文法記述の問題点」(北海道大学文学部紀要 44-3. 第 87 号. 1996.

41-107)

*本稿は平成 10 年度文部省科学研究費補助金による研究成果の一部である。

研究課題：「ドイツ語・オランダ語・フリジア語の対照文法記述－西ゲルマン語
類型論に向けて」、基盤研究(C)(2)、課題番号 10610491 (研究代表者 北海道大学
文学部助教授 清水 誠)